SONY

4-115-467-**03**(1)

DVDライター

取扱説明書

VRD-MC10

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

AVCHD MEMORY STICK™ HDMI

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

80ページの注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



❶ **電源を切る**
❷ **電源プラグをコンセントから抜く**
❸ **お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



指のケガに注意　火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止
接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示　プラグをコンセントから抜く

必ずお読みください

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で外部メディアなどに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で外部メディアの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

著作権に関するご注意

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオ機器を接続して番組を録画する場合、番組にコピー制御信号が含まれている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

ACアダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

- DVDirect、ハンディカム、サイバーショット、メモリースティック、そしてそれぞれのロゴマークは、弊社の商標あるいは登録商標です。「プレイステーション」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
  本製品は、ドルビーラボラトリーズ社とのライセンス契約に基づき、製造されています。
  Dolbyとダブルのシンボルマークは、ドルビーラボラトリーズ社の商標です。
- 本製品には、著作権者（イーソル株式会社）とのライセンス契約に基づき、その著作権者のソフトウェアが使用されています。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

本機の設定メニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビなどでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

ハンディカムについて

本書で「ハンディカム」とは、ソニー製デジタルビデオカメラのことです。特に、ハイビジョン画質（HD）での撮影に対応したソニー製デジタルビデオカメラのことをさす場合は、「ハイビジョンハンディカム」とあらわします。

画像について

本書で「画像」とは、動画と静止画の両方のことをさします。

本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。

目次

各種設定

困ったときは／参考情報

その他

ダビング方法を確かめる

ダビング方法は、作成したいディスクや撮影した機器の種類などによって異なります。
下のフローをご覧になり、該当する接続と操作をしてください。

まず、作成したいディスクの種類を選びます

- 動画と静止画（JPEGファイル）は、ダビング方法によっては同じディスクにダビングできます。
- デジタルスチルカメラなどで撮影した各種メモリーカードから静止画（JPEGファイル）をダビングするときは、16ページをご覧ください。

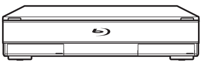
ハイビジョン映像を、美しいままディスクに残したい…

ハイビジョン画質（HD）のディスク（AVCHD規格）

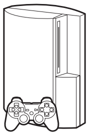
再生できる機器例

AVCHD規格対応機器

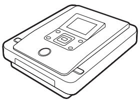
ソニー製ブルーレイディスクレコーダー



“プレイステーション 3”



本機



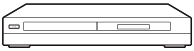
DVDプレーヤー／レコーダーでは再生できません。

さまざまな機器でみんなが手軽に見られるディスクにしたい…

標準画質（SD）のディスク

再生できる機器例

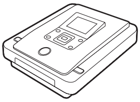
DVDプレーヤー／レコーダー



パソコン



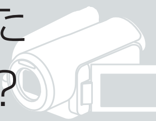
本機



ご注意

- 「ダビングできない場合について」（20ページ）もご覧ください。

撮影した機器は？



撮影時の画質は？

HD：ハイビジョン画質
SD：標準画質

ダビングタイプ

ソニー製ハイビジョン画質(HD)
デジタルビデオカメラ
デジタルスチルカメラ
→ HD → **A** ➜ 8ページ
→ SD → 作成できません

他社製ハイビジョン画質(HD)
デジタルビデオカメラ
→ HD → **B** ➜ 10ページ
→ SD → 作成できません

ソニー製標準画質(SD)
他社製標準画質(SD)
デジタルビデオカメラ
一般のビデオ機器
→ 作成できません

ソニー製ハイビジョン画質(HD)
デジタルビデオカメラ
→ HD ダビング時に標準画質（SD）に変換されます。 → **C** ➜ 12ページ
→ SD → **D**

ソニー製標準画質(SD)
デジタルビデオカメラ
→ SD → **D** ➜ 14ページ

他社製ハイビジョン画質(HD)
他社製標準画質(SD)
デジタルビデオカメラ
一般のビデオ機器
→ HD* / SD → **E** ➜ 16ページ
*ダビング時に標準画質（SD）に変換されます。

ダビングタイプ

A ハイビジョン画質(HD)の動画をハイビジョン画質(HD)のままダビングする HD ➡ HD

静止画はJPEGファイルのままダビングされます。

記録されているメディアは？	接続と設定
ハードディスク	カメラに付属または別売りのUSBケーブルでつなぐ ➡ 28ページ
内蔵メモリー	カメラに付属または別売りのUSBケーブルでつなぐ ➡ 28ページ
8cmディスク	カメラに付属または別売りのUSBケーブルでつなぐ ➡ 28ページ
メモリーカード	メモリーカードを差し込む*1 ➡ 34ページ
DVテープ(HDV規格)	**ダビングできません** 標準画質(SD)に変換してダビングできます。ダビングタイプ❻(12ページ)をご覧ください。

*1 カメラをUSBケーブルでつないでもダビングできます。

ダビング方法を選んでスタート！

ワンタッチダビング カメラのワンタッチボタンを押すだけ	まるごとダビング 機器の中の画像をすべてダビング	つづきダビング 新しく撮った画像だけをダビング	プレイリストダビング*2 カメラで作ったプレイリストどおりに	画像選択ダビング 撮影日やシーンから画像を選ぶ
46ページ	35ページ	38ページ	40ページ	42ページ
46ページ*3	35ページ	38ページ	40ページ	42ページ
—	37ページ	—	—	—
46ページ*4	35ページ	38ページ	40ページ	42ページ

*2 静止画はダビングできません。また、プレイリストの作成に対応した機種のみプレイリストダビングに対応しています。

*3 ハイブリッドプラスハンディカムの内蔵メモリーからワンタッチダビングはできません。

*4 カメラをUSBケーブルでつないだ場合のみ可能です。また、一部機種のみワンタッチダビングに対応しています。

ご注意

- [HD FX]（ハイビジョンハンディカムの場合）など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質（HD）の動画は、AVCHD規格の規定によりダビングできません。この場合は標準画質（SD）に変換してダビングできます。ダビングタイプⓒ（12ページ）をご覧ください。

ダビングタイプ

B 他社製カメラ*のハイビジョン画質(HD)の動画をハイビジョン画質(HD)のままダビングする HD → HD

*すべての他社製カメラの動作を保証するものではありません。

記録されているメディアは?

接続と設定

USB接続でのダビングはできません。

ハードディスク / 内蔵メモリー → カメラの機能を使って動画や静止画をメモリーカードにコピー*する

↓

メモリーカード → メモリーカードを差し込む

➔ 34ページ

8cmディスク → **ダビングできません**

標準画質(SD)に変換してダビングできます。ダビングタイプ**C**(12ページ)をご覧ください。

DVテープ(HDV規格) → **ダビングできません**

標準画質(SD)に変換してダビングできます。ダビングタイプ**C**(12ページ)をご覧ください。

* 詳しくはご使用のカメラの取扱説明書をご覧ください。

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング カードの中の動画をすべてダビング	画像選択ダビング 撮影日やインデックスから動画を選ぶ
35ページ	42ページ

ご注意

- [MXP]（キヤノン製デジタルビデオカメラの場合）など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質（HD）の動画は、AVCHD規格の規定によりダビングできません。この場合は標準画質（SD）に変換してダビングできます。ダビングタイプⓒ（12ページ）をご覧ください。
- 他社製カメラをUSBケーブルでつないでダビングできません。

ダビングタイプ

C ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質(SD)に変換してダビングする

HD → SD

静止画はダビングできません。

記録されているメディアは?

- ハードディスク
- 内蔵メモリー
- 8cmディスク
- メモリーカード
- DVテープ(HDV規格)

接続と設定

ハードディスク → カメラに付属または別売りのAVケーブルでつなぐ ➜30ページ

内蔵メモリー → カメラに付属または別売りのAVケーブルでつなぐ ➜30ページ

8cmディスク → カメラに付属または別売りのAVケーブルでつなぐ ➜30ページ

メモリーカード → カメラに付属または別売りのAVケーブルでつなぐ ➜30ページ

DVテープ(HDV規格) → カメラに付属または別売りのAVケーブルでつなぐ ➜30ページ

DVテープ(HDV規格) → カメラに付属または別売りのDV(i.LINK)ケーブルでつなぐ ➜29ページ

ダビング方法を選んでスタート！

マニュアルダビング 再生しながら手動で操作
44ページ
44ページ
44ページ
44ページ
50ページ

まるごとダビング 機器の中の動画をすべてダビング	マニュアルダビング 再生しながら手動で操作
48ページ	50ページ

ダビングタイプ

D 標準画質(SD)の動画を標準画質(SD)のままダビングする

SD ➡ SD

静止画はJPEGファイルのままダビングされます。

記録されているメディアは？

接続と設定

ハードディスク → カメラに付属または別売りのUSBケーブルでつなぐ ➡ 28ページ

内蔵メモリー → カメラに付属または別売りのUSBケーブルでつなぐ ➡ 28ページ

8cmディスク → カメラに付属または別売りのUSBケーブルでつなぐ ➡ 28ページ

メモリーカード → メモリーカードを差し込む*1 ➡ 34ページ

*1 カメラをUSBケーブルでつないでもダビングできます。

DVテープ → カメラに付属または別売りのDV(i.LINK)ケーブルでつなぐ ➡ 29ページ

その他のメディア（8mmテープ、MICROMVテープなど） → カメラに付属または別売りのAVケーブルでつなぐ ➡ 30ページ

ダビング方法を選んでスタート！

ワンタッチダビング カメラのワンタッチボタンを押すだけ	まるごとダビング 機器の中の画像をすべてダビング	つづきダビング 新しく撮った画像だけをダビング	プレイリストダビング*2 カメラで作ったプレイリストどおりに	画像選択ダビング 撮影日やシーンから画像を選ぶ
46ページ	35ページ	38ページ	40ページ	42ページ
46ページ*3	35ページ	38ページ	40ページ	42ページ
—	37ページ	—	—	—
46ページ*4	35ページ	38ページ	40ページ	42ページ

まるごとダビング*2 機器の中の動画をすべてダビング	マニュアルダビング*2 再生しながら手動で操作
48ページ	50ページ
—	44ページ

*2 静止画はダビングできません。
*3 ハイブリッドプラスハンディカムの内蔵メモリーからワンタッチダビングはできません。
*4 カメラをUSBケーブルでつないだ場合のみ可能です。また、一部機種のみワンタッチダビングに対応しています。

ダビングタイプ

E 一般のビデオ機器の動画を標準画質(SD)でダビングする

HD / SD → SD

静止画はダビングできません。

記録されている機器・メディアは？

DV出力端子があり、DV信号を出力できるビデオ機器

映像／音声出力端子のあるビデオ機器

接続と設定

USB接続でのダビングはできません。

別売りの
DV（i.LINK）ケーブルでつなぐ
➡ 29ページ

本機に付属または別売りの
映像／音声ケーブルでつなぐ
➡ 30ページ

メモリーカードから静止画をダビングする

静止画はJPEGファイルのままダビングされます。

記録されているメモリーカード

"メモリースティックデュオ"
"メモリースティック"
SDカード
xD-ピクチャーカード
コンパクトフラッシュ

メモリーカードの接続

メモリーカードスロットに差し込む

➡ 34ページ

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング 機器の中の動画をすべてダビング	マニュアルダビング 再生しながら手動で操作
48ページ	50ページ
—	50ページ

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング 機器の中の静止画をすべてダビング	画像選択ダビング（静止画のダビング） 撮影日やインデックスから静止画を選ぶ
49ページ	52ページ

この取扱説明書の使いかた

ディスクへのダビングを始める前に、まず、「ダビング方法の選択」をご覧ください。
「ダビング方法の選択」では、ディスクの用途や使用する機器を選びながら、ダビングに必要な接続や操作を確認できます。

ダビング方法の選択（6ページ）
「ダビング方法を確かめる」（6ページ）で、作成したいディスクの種類やお使いの機器などの条件に合うダビング方法を探します。次に「ダビングタイプⒶ～Ⓔ」（8ページ～16ページ）で、お使いの機器に合った接続や操作方法を確認してください。

ダビングの準備（26ページ）
「ダビングタイプⒶ～Ⓔ」の結果にしたがってお使いの機器と本機をつなぎ、機器の設定などの準備をしてください。

ダビング（35、48ページ）
「ダビングタイプⒶ～Ⓔ」で選んだお好みのダビング方法のページをご覧になり、本機を操作してください。

再生（54ページ）
ディスクが完成したら、本機とテレビをつないで再生してください。

マークについて

本書では、接続や操作方法の説明の前に、ダビング可能な機器・メディアを示すマークを記載しています。接続や操作方法を選ぶ目安としてください。

機器の種類

マーク	ダビング可能な機器
ソニー製カメラ	ソニー製デジタルビデオカメラまたはソニー製デジタルスチルカメラ
他社製カメラ	他社製デジタルビデオカメラ
一般ビデオ機器	映像／音声出力端子のある各種ビデオ機器

記録メディアの種類

マーク	ダビング可能なメディア
ハードディスク	カメラに内蔵されたハードディスク
内蔵メモリー	カメラに内蔵されたメモリー
8cmディスク	カメラに挿入されている8cmディスク
メモリーカード	カメラで使用された"メモリースティックデュオ"やSDカードなどのメモリーカード
DVテープ	カメラに挿入されているテープ（DV規格／D8規格）

本機でできること

本機を使えば、簡単に動画や静止画をパソコンなしでディスクにダビングできます。



ハイビジョン画質（HD）動画のダビング

デジタルビデオカメラやデジタルスチルカメラで撮影したハイビジョン画質（AVCHD規格）の動画を、そのままの画質でディスクにダビングできます。ダビングしたディスクは、AVCHD規格に対応した機器で再生できます。「ハイビジョン画質（HD）のディスクの再生互換性について」（21ページ）を必ずお読みください。

標準画質（SD）動画のダビング

さまざまなビデオ機器に記録した動画を標準画質（SD）でディスクにダビングできます。ダビングしたディスクは、DVDプレーヤーなどのDVD機器で再生できます。

写真のダビング

デジタルビデオカメラやデジタルスチルカメラで撮影した静止画を、ディスクにJPEGファイルのままダビングできます。動画と静止画を撮影したカメラやメモリーカードを使えば、動画と静止画の両方を同じディスクにダビングすることもできます。

ディスクの再生

本機でダビングしたディスクを再生して、本機のディスプレイまたはテレビにつないで画像を見ることができます。静止画のスライドショー再生もできます。HDMIケーブルでハイビジョンテレビにつなげば、ハイビジョン画質（HD）のディスクの再生画像を高画質のまま楽しめます。

知っておいていただきたいこと

ダビング可能な機器や画像の種類について

本機は以下のダビングに対応しています。

- ハイビジョン画質（HD）の動画
  - ソニー製デジタルビデオカメラで撮影したハイビジョン画質（AVCHD規格）の動画
  - ソニー製デジタルスチルカメラで撮影したハイビジョン画質（AVCHD規格）の動画
  - 他社製デジタルビデオカメラ*[1]で撮影したハイビジョン画質（AVCHD規格）の動画
- 標準画質（SD）の動画
  - ソニー製デジタルビデオカメラで撮影した標準画質の動画
  - 各種ビデオ機器（映像・音声出力端子のあるビデオ機器）の動画
- 静止画
  - デジタルビデオカメラで撮影した静止画（JPEG規格）
  - デジタルスチルカメラで撮影した静止画（JPEG規格）

*[1]動作確認済みの機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/dvdirect/

ダビングの方法は、使用する機器やその記録メディア、撮影した動画や静止画の種類、作成したいディスクの種類によって異なります。詳しくは、6ページをご覧になり、該当する接続と操作を選択してください。

ダビングできない場合について

- 次の場合は本機ではダビングできません。
  - コピー制御信号のある動画（市販のDVDビデオソフト、ビデオテープ、衛星あるいはケーブルテレビの番組など）
  - 他機種でダビングしたディスクへの追記
- 本機が対応していない規格の動画を、メモリーカードスロットやUSBケーブル経由でダビングすることはできません（例：携帯電話やWebアップロード用途のカメラで撮影したMPEG1やAVCHD規格以外のMPEG4の動画など）。映像／音声ケーブル（AVケーブル）経由でのダビングは可能です。
- 次の場合はハイビジョン画質（HD）でのダビングができません。標準画質（SD）でのダビングとなります。
  - [HD FX]（ハイビジョンハンディカムの場合）など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質（HD）の動画（AVCHD規格の規定によりダビングできません）
  - 「DV規格のテープ」に撮影したハイビジョン画質（HD）の動画（HDV規格）
  - その他、AVCHD規格以外のハイビジョン画質（HD）の動画
- カメラを、パソコンや“プレイステーション 3”につないでファイルの削除や画像の編集を行った場合、本機につないでダビングできなくなることがあります。ファイルの削除や画像の編集は、カメラ本体で行ってください。

複数の種類の画像をダビングする場合について

- 動画や静止画を同時にダビングする場合、動画と静止画は以下の順番でダビングされます。

静止画 ➡ **ハイビジョン画質（HD）の動画** ➡ **標準画質（SD）の動画**

- 標準画質（SD）の動画とハイビジョン画質（HD）の動画は異なるディスクにダビングされます。
- 静止画は動画と同じディスクにダビングされます。

- ダビングを始めるときに挿入されているディスクと、ダビングする画像の種類との組み合わせによっては、順番が異なったり、新しいディスクを入れ直す必要があります。

本機でのディスク再生について
- 本機でダビングしたディスクのみ、本機で再生できます。
- 市販のDVDビデオソフトや、他機種でダビングしたディスクは再生できません。
- 8cmディスクやメモリーカードは再生できません。
- 本機にスピーカーは搭載されていません。再生中に本機から音声は出ません。

ハイビジョン画質(HD)のディスクの再生互換性について
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)のディスクを再生できません。
- ハイビジョン画質(HD)のディスクはDVDプレーヤーやDVDレコーダーに入れないでください。ディスクの取り出しができなくなったり、警告なしに画像が消去されたりする恐れがあります。
- ハイビジョン画質(HD)のディスクは、ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダー、"プレイステーション 3"などのAVCHD規格に対応した機器で再生できます。

ディスクを再生できる機器

ハイビジョン画質(HD)のディスク



標準画質(SD)のディスク



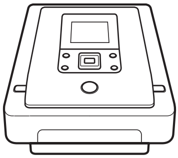
* AVCHD規格の再生に対応するアプリケーションをインストールしたパソコンをお使いください。また、動作環境を満たしたパソコンでも、再生画像のノイズ、コマ落ち、音途切れが発生することがあります。(これは、ダビングしたハイビジョン画質(HD)のディスクの品質によるものではありません。)

テレビにつないだときの表示について
テレビ画面に表示されるのは、ディスク再生時の画像や操作画面のみです。ダビング中またはダビングや設定メニューの操作中など、再生以外の画面は表示されません。

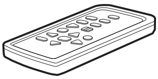
付属品を確かめる

箱を開けたら、製品本体と以下の付属品がそろっているか確認してください。
万一不足の場合は、お買い上げ店へご相談ください。
(　)内は個数です。

VRD-MC10本体(1)

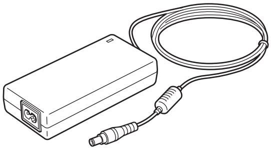


再生用リモコン(1)



ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

ACアダプター(1)



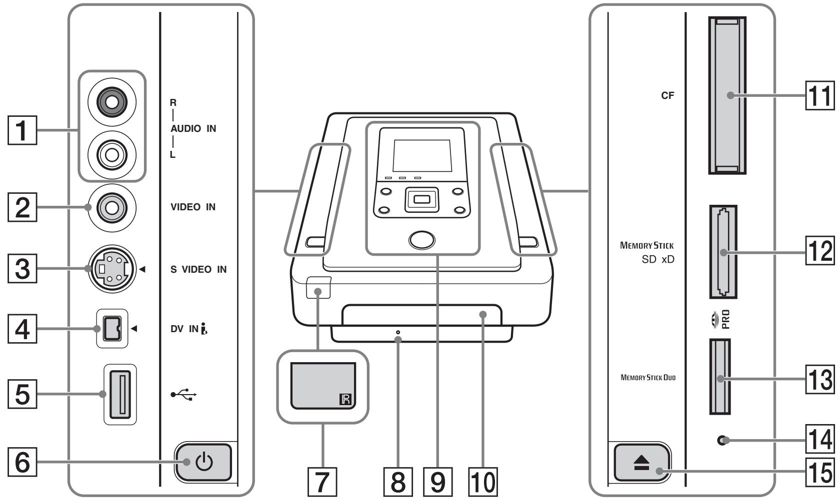
電源コード(1)
映像／音声ケーブル(1)
取扱説明書(本書)(1)
保証書(1)
ソニーご相談窓口の案内(1)

各部の名称とはたらき

（　）内は参照ページです。

本体

前面と側面



1 AUDIO IN（音声入力）端子（30）

2 VIDEO IN（映像入力）端子（30）

3 S VIDEO IN（S映像入力）端子（30）

4 DV IN（DV入力）端子（29）

5 USB端子（タイプA）（28）

6 ⏻（電源）スイッチ（26）

7 **リモコン受光部**
再生用リモコンは、リモコン受光部に向けて操作します。

8 **緊急取り出し穴**
ディスクを取り出せないときに、ピンやクリップなどをまっすぐ差し込んでください。ディスクトレイが開きます。

9 操作パネル（24）

10 ディスクトレイ（27）

11 コンパクトフラッシュカードスロット（34）

12 マルチカードスロット（34）
"メモリースティック"、SDカード、xD-ピクチャーカードを挿入します。

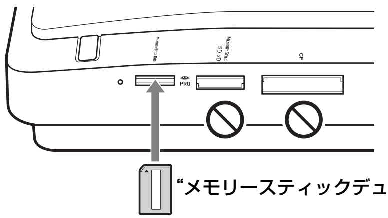
13 メモリースティックデュオスロット（34）

14 **メモリーカードランプ**
メモリーカードを読み込んでいるときにオレンジ色に点灯します。

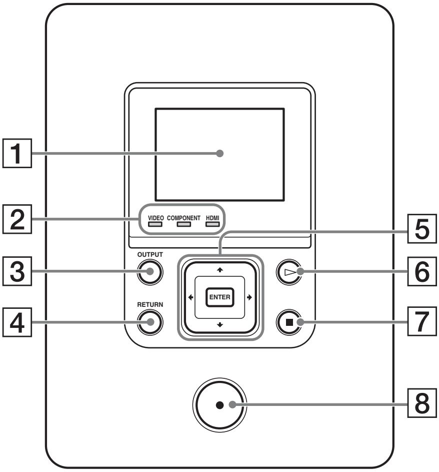
15 ⏏（開／閉）ボタン（27）

ご注意

- "メモリースティックデュオ"と"メモリースティック"の挿入口は異なります。"メモリースティックデュオ"はメモリースティックデュオスロットへ、"メモリースティック"はマルチカードスロットへ挿入してください。"メモリースティックデュオ"をマルチカードスロットへ挿入すると、取り出せなくなります。



操作パネル



1 ディスプレイ
操作画面、ビデオ機器やメモリーカードの画像などを表示します。

2 VIDEOランプ／COMPONENTランプ／HDMIランプ
OUTPUT（出力切換）ボタン（3）で選んだ出力のランプが点灯します。

3 OUTPUT（出力切換）ボタン（57、60）

4 RETURN（戻る）ボタン（63）

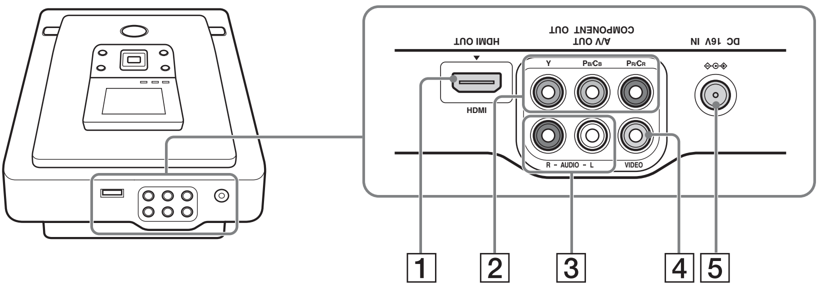
5 ↑/↓/←/→/ENTER（選択）ボタン（35、48、59、62）

6 再生ボタン（57、60）

7 停止ボタン（36、49、59、62）

8 ダビング（録画）ボタン（35、48）

後面



1 HDMI（HDMI出力）端子（55）

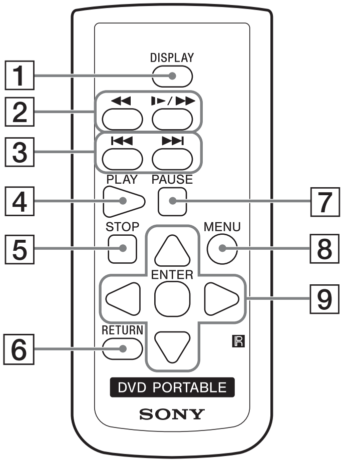
2 Y、P_B/C_B、P_R/C_R（コンポーネント出力）端子（55、56）

3 AUDIO（音声出力）端子（55、56）

4 VIDEO（映像出力）端子（56）

5 DC IN（電源入力）端子（26）

再生用リモコン



1 DISPLAY（画面表示）ボタン（58、61）

2 ◀◀、▮▶/▶▶ボタン（59）

3 ▮◀◀、▶▶▮ボタン（59、62）

4 PLAY（再生）ボタン（57、60）

5 STOP（停止）ボタン（59、62）

6 RETURN（戻る）ボタン（63）

7 PAUSE（一時停止）ボタン（59、62）

8 MENU（ディスクメニュー）ボタン（59）

9 ▲/▼/◀/▶/ENTER（選択）ボタン（57、60）

ご注意

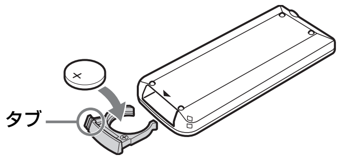
- 本機前面のリモコン受光部（23ページ）に向けて操作してください。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。

② ＋面を上にして新しい電池を入れる。

③ 電池ケースをカチッという音がするまで差し込む。



ご注意

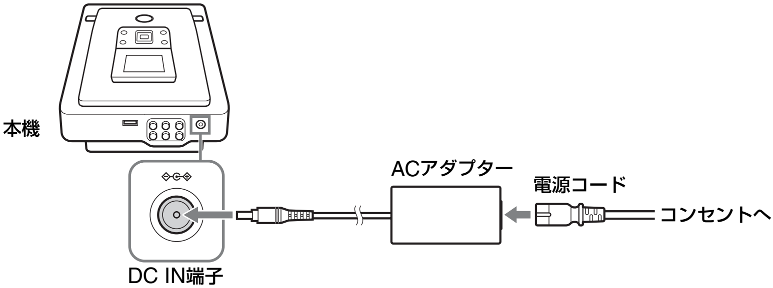
- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

本機の電源を入れる

1 付属の電源コードをACアダプターにつなぐ。

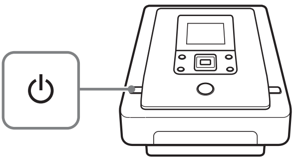
2 本機のDC IN端子にACアダプターの電源プラグを差し込む。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。



ご注意
- 付属の電源コードとACアダプターをお使いください。
- 破損しているコードは使わないでください。

4 ⏻(電源)スイッチを押す。

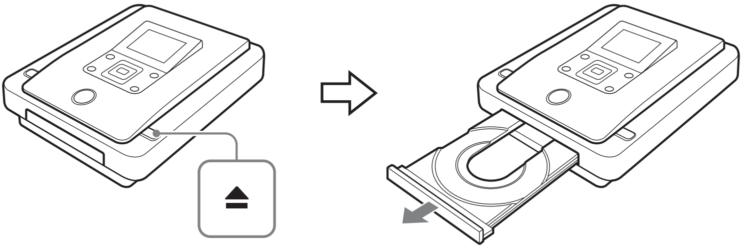


ディスプレイが明るくなり、DVDirectのロゴが表示されてから、以下の初期画面(トップ画面)が表示されます。



ディスクを挿入する

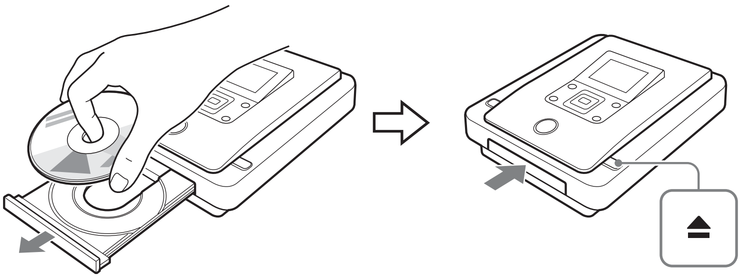
1 ⏏(開／閉)を押す。



ディスクトレイが開きます。

2 再生／録画面を下にしたディスクをディスクトレイに置き、もう一度⏏(開／閉)を押す。

ご注意
- ディスクの再生／録画面には触れないでください。



ディスクトレイが閉まります。

ダビング時の接続・設定をする

ダビングタイプⒶ～Ⓔ（8ページ～16ページ）で当てはまった「接続と設定」の方法をご覧ください。

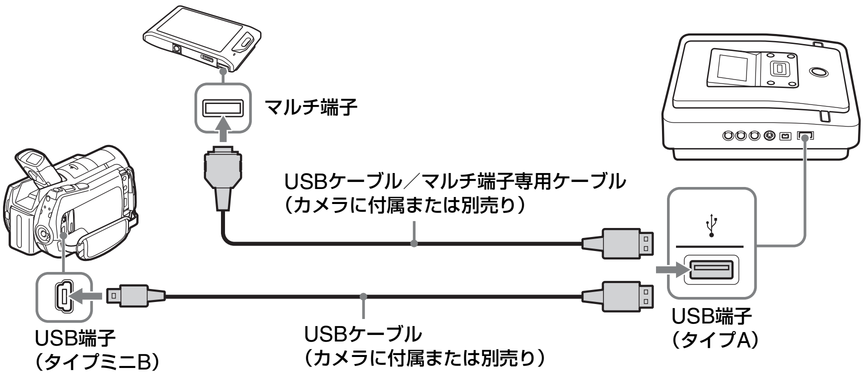
USBケーブルの接続・設定

1 カメラの電源を入れる。

ご注意
- カメラは必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

ちょっと一言
- カメラの一部の機種では、「撮影モード」から他のモード（「再生」「編集」など）への切り換えが必要です。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。

2 カメラを本機につなぐ。



3 カメラ側でUSB接続を確認する。

ソニー製デジタルビデオカメラの場合

［USB機能選択］画面が表示されます。ダビングする画像が記録されている記録メディアのボタンをタッチしてください。

［USB機能選択］画面で表示されるボタン名称例

記録メディア	ボタン名称例
ハードディスク	［USB接続］［パソコン接続］［パソコン接続 HDD］など
内蔵メモリー	［USB接続］など
8cmディスク	［USB接続］［パソコン接続］など
メモリーカード	［USB接続］［パソコン接続］など

ちょっと一言
- カメラの機種によっては、カメラを本機につなぐだけでUSB接続が完了します。（カメラの画面に［USBモード］などと表示されます。）その場合は記録メディアを選ぶ操作は必要ありません。
- カメラの設定に［USB速度設定］がある場合は、あらかじめ［自動］に設定してください。（初期設定は［自動］です。）

ソニー製デジタルスチルカメラの場合

カメラを本機につなぐだけでUSB接続が完了します。[USBモード]や[Mass Storage]と表示されます。

ちょっと一言

- カメラの設定に[USB接続]がある場合は、あらかじめ[オート]または[Mass Storage]に設定してください。（初期設定は[オート]です。）
- カメラの設定に [LUN設定] がある場合は、機種によってはあらかじめ[シングル]に設定する必要があります。（初期設定は、機種によって異なります。）
- 動作確認済みの機種については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/dvdirect/

ご注意

- 内蔵メモリーとメモリーカードを搭載するカメラを本機につなぐと、本機はUSB接続先として、メモリーカードを選びます。ただしカメラの機種やカメラの設定によっては、内蔵メモリーを選ぶ場合があります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧になり、[USB接続]や[LUN設定]などの設定をご確認ください。

ご注意

- 次の画像は、USBケーブルを使ってダビングできません。AVケーブルを使ってダビングしてください。
  – ソニー製デジタルビデオカメラで8cmディスクに撮影した「フォトムービー」
  – ソニー製デジタルビデオカメラで、記録フォーマットに「VRモード」を選んで撮影した8cmディスクの動画
- 記録メディアがDVテープのソニー製デジタルビデオカメラで、"メモリースティックデュオ"に撮影した静止画はUSBケーブルを使ってダビングできません。"メモリースティックデュオ"を本機に差し込んでダビングしてください。

DV(i.LINK)ケーブルの接続・設定

1 ビデオ機器の電源を入れる。

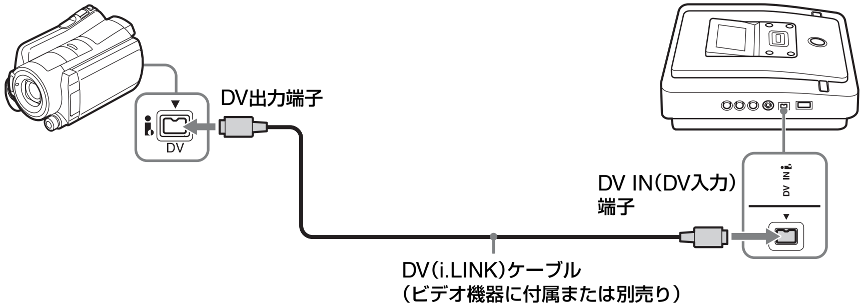
ご注意

- カメラは必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

2 ビデオ機器を再生モードにする。

- 再生モードに設定する方法はお使いのビデオ機器によって異なります。（ソニー製デジタルビデオカメラでは、電源スイッチを「見る／編集」や「ビデオ」などに切り換えます。）詳しくはお使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ハイビジョンハンディカム（HDV方式）で撮影したハイビジョン画質（HD）の動画をDV端子につないでダビングする場合、あらかじめハンディカムの[i.LINK DV変換]設定を[入]にしてください。ハイビジョン画質（HD）の動画を標準画質（SD）に変換してダビングすることができます。

3 ビデオ機器を本機につなぐ。



ご注意

- DV(i.LINK)ケーブルを使ってダビングできるのは、DV規格デジタルビデオカメラのDV出力のみです。MICROMVや他のi.LINK端子付デジタルビデオ機器はダビングできません。これらの機器の場合は、映像/音声ケーブルを使ってダビングしてください。
- ソニー家庭用HDV/DV方式、Digital8(デジタルエイト)方式のデジタルビデオカメラ(DCR-VX700/VX1000、HDR-FX1/FX7/FX1000を除く)で接続動作を確認しています。

映像/音声ケーブル(AVケーブル)の接続・設定

1 ビデオ機器の電源を入れる。

ご注意

- カメラは必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

2 ビデオ機器を再生モードにする。

- 再生モードに設定する方法はお使いのビデオ機器によって異なります。(ソニー製デジタルビデオカメラでは、電源スイッチを「見る/編集」や「ビデオ」などに切り換えます。また、複数のメディアに動画を撮影できるカメラでは、再生したいメディア(ハードディスク、メモリーカード、8cmディスク、または内蔵メモリー)の選択が必要です。)詳しくはお使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ソニー製デジタルビデオカメラ(DVテープ/D8)の[A/V→DV OUT]の設定は、[OFF]に設定してください。(初期設定は[OFF]です。)

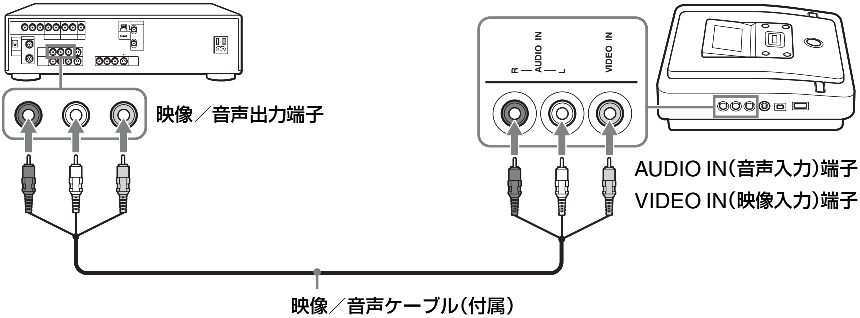
3 ビデオ機器を本機につなぐ。

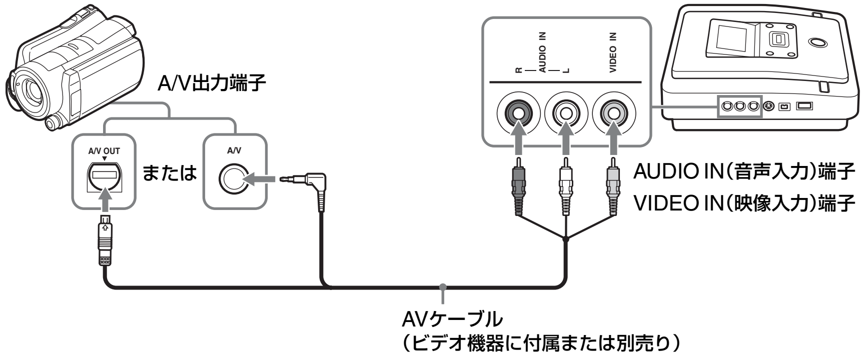
S映像ケーブル(別売り)または映像/音声ケーブル(付属)、AVケーブル(別売り)を使用します。

ちょっと一言

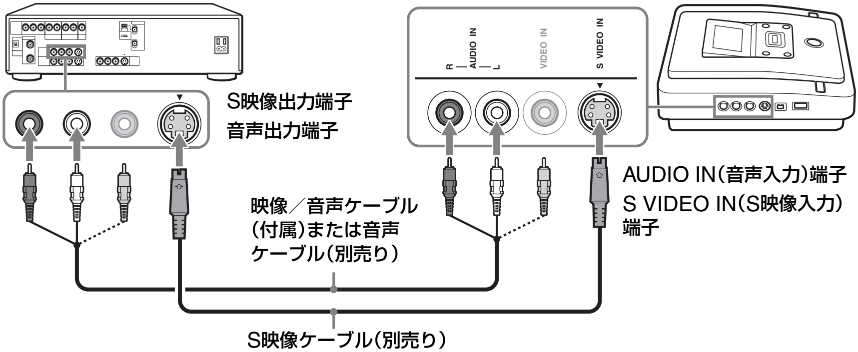
- ビデオ機器の端子はお使いの機器によって異なります。お使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧のうえ、適切なケーブルを使用してください。
- お使いのビデオ機器にS映像出力端子がある場合は、S映像ケーブルを使うと映像/音声ケーブル使用時に比べ、より高画質でダビングできます。

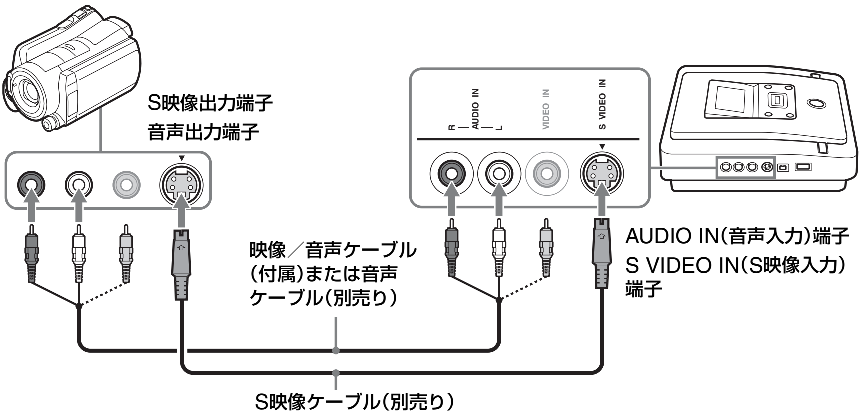
映像／音声ケーブル（AVケーブル）でつなぐとき





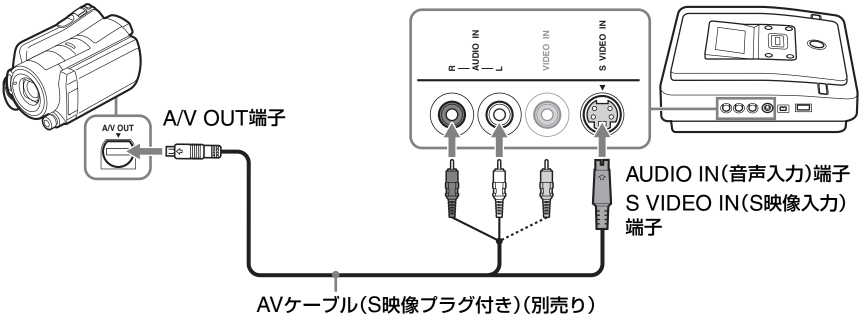
S映像ケーブルでつなぐとき



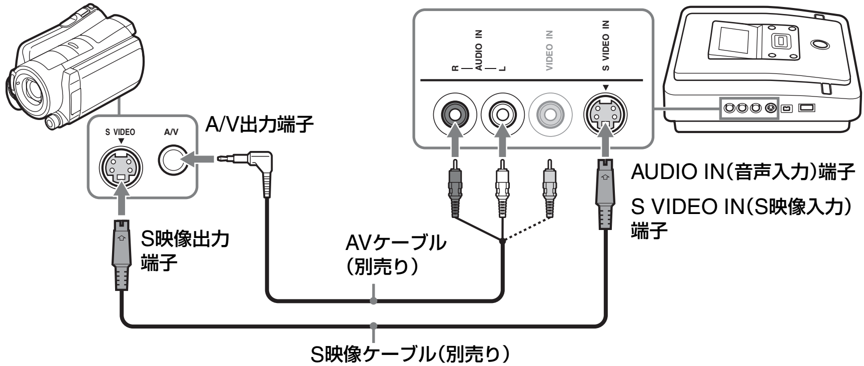


S映像出力端子
音声出力端子
AUDIO IN
VIDEO IN
S VIDEO IN
AUDIO IN(音声入力)端子
S VIDEO IN(S映像入力)
端子
映像／音声ケーブル
(付属)または音声
ケーブル(別売り)
S映像ケーブル(別売り)

A/V OUT端子のあるビデオカメラの場合、AVケーブル(S映像プラグ付き)でつなぐことができます。



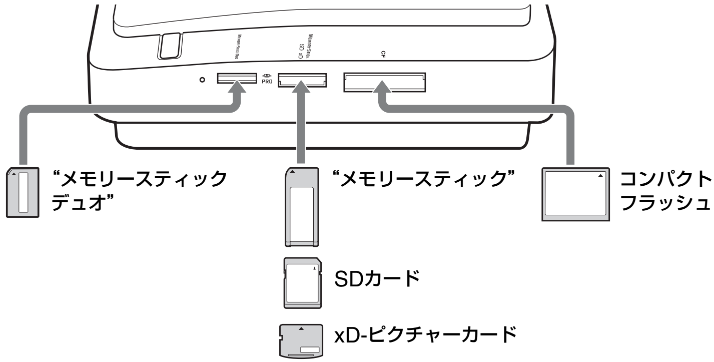
A/Vミニジャックのあるビデオカメラの場合、AVケーブルとS映像ケーブルでつないでください。



各種メモリーカードの挿入

メモリーカードの動画や静止画をダビングするときは、メモリーカードを本機に挿入します。

対応するメモリーカードスロットへ、メモリーカードを挿入する。

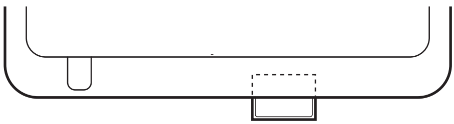


“メモリースティックデュオ”、“メモリースティック”、SDカード、xD-ピクチャーカードの場合は

メモリーカードをカチッという音がするまで挿入口へ押し込んでください。取り出すときには、カードを押してから引き出してください。

コンパクトフラッシュの場合は

コンパクトフラッシュを挿入口に押し込んでください。コンパクトフラッシュは、半分まで挿入された状態となります。取り出すときには、コンパクトフラッシュを引き出してください。



ご注意

- 複数のメモリーカードスロットに同時にメモリーカードを挿入しないでください。また、各メモリーカードスロットには一度に1枚のカードしか挿入できません。
- ダビング中に、他のメモリーカードを挿入しないでください。正しくダビングされないことがあります。
- メモリーカードスロットへ、メモリースティックデュオアダプターをつけた“メモリースティックデュオ”を挿入しないでください。
- ダビング中や、メモリーカードランプが点灯している間、メモリーカードは取り出さないでください。取り出した場合、メモリーカードのデータが破損することがあります。

まるごとダビング

ソニー製カメラ　ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード
他社製カメラ　メモリーカード

(ダビング／録画)を押すだけで、カメラ接続時に選ばれた記録メディア、または本機に挿入したメモリーカードの中のすべての画像をダビングできます。画像を選ばなくてもダビングできる簡単な方法のひとつです。
あらかじめ本機の電源を入れ(26ページ)、ディスクの挿入(27ページ)、ダビング時の接続と設定(28ページ)を済ませてください。

ご注意
- 8cmディスクからダビングするときは、「まるごとダビング(8cmディスクからダビング)」(37ページ)をご覧ください。
- DV規格のテープからダビングするときは、「ダビング:一般のビデオ機器から」の「まるごとダビング」(48ページ)をご覧ください。
- 種類の異なる複数のメディアからは同時にダビングできません。

1 ダビングモード選択画面を確認する。

USB端子につないだカメラ、またはスロットに挿入したメモリーカードが検出されると、ダビングモード選択画面が表示されます。



2 ↑/↓で[まるごと]を選び、→を押す。

ちょっと一言
- 画像を選ぶ必要がないときは、[まるごと]を選び(ダビング／録画)を押すとダビングが始まります。手順5に進んでください。

3 ダビングしたい画像の種類にチェックマークが付いていることを確認する。

↑/↓で選びENTER(選択)を押すと、チェックマークを付けたりはずしたりできます。



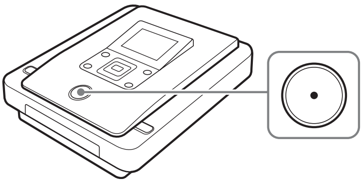
[HD 動画]と[SD 動画]を両方選んだときは

標準画質(SD)の動画とハイビジョン画質(HD)の動画は異なるディスクにダビングされます。

詳しくは、「複数の種類の画像をダビングする場合について」(20ページ)をご覧ください。

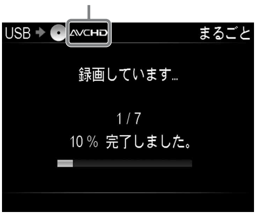
ご注意
- ダビングできない画像の種類は選べません(選択されたカメラ側の記録メディアやメモリーカードに画像がない場合、他社製デジタルビデオカメラで撮影した標準画質(SD)の動画など)。

4 ⊙（ダビング／録画）を押す。



⊙（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

ハイビジョン画質（HD）の動画をダビング中は［AVCHD］マークが表示されます



5 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



6 ダビングが完了したら、ディスクを取り出す。

［自動ファイナライズ］が［オン］に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します（64ページ）。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、■（停止）を押す。

ダビング中は中止できません。

まるごとダビング（8cm ディスクからダビング）

ソニー製カメラ　8cmディスク

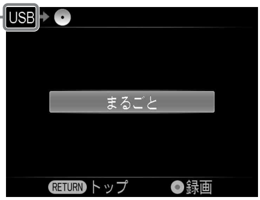
（ダビング／録画）を押すだけで、カメラの8cmディスクの中のすべての画像をダビングできます。複数の8cmディスクをまとめて1枚のディスクにダビングすることもできます。

あらかじめ本機の電源を入れ（26ページ）、ディスクの挿入（27ページ）、USBケーブルの接続と設定（28ページ）を済ませてください。

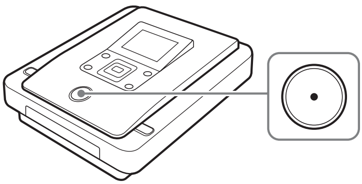
1 ダビングモード選択画面を確認する。

USB端子につないだカメラが検出されると、ダビングモード選択画面が表示されます。

接続方法

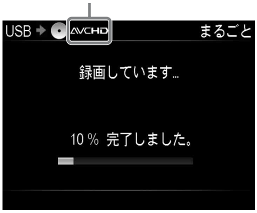


2 [まるごと]が選ばれていることを確認して、（ダビング／録画）を押す。



（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

ハイビジョン画質（HD）の動画をダビング中は[AVCHD]マークが表示されます

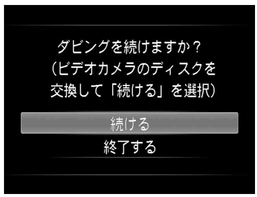


ご注意

- 8cmディスクからダビングする場合は画像の種類を選べません。8cmディスクに撮影されたすべての画像がダビングされます。（「フォトムービー」ファイルは除く。）
- 標準画質（SD）の8cmディスクとハイビジョン画質（HD）の8cmディスクは、1枚のディスクにまとめてダビングできません。
- 8cmディスク、および本機に挿入されているディスクそれぞれに記録された画像の種類の組み合わせによっては、ダビングできないことがあります。

3 ディスク交換のメッセージが表示されたら、カメラの8cmディスクを交換する。

8cmディスクが1枚のみの場合は手順6に進んでください。



4 ↑/↓で[続ける]を選び、ENTER（選択）を押す。

再びダビングが始まります。

5 手順3～4をくり返し、すべての8cmディスクの画像をダビングする。

6 すべての8cmディスクのダビングが終わったら、手順3の画面で[終了する]を選びENTER（選択）を押す。

[自動ファイナライズ]が[オン]に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します（64ページ）。

ダビングを中止するには

カメラの8cmディスクを交換するときに、[終了する]を選びENTER（選択）を押す。

ダビング中は中止できません。

つづきダビング

ソニー製カメラ　ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード

前回ダビング（つづきダビングまたはワンタッチダビング）したあとに新しく撮影された画像のみをダビングできます。画像を選ばなくてもダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ（26ページ）、ディスクの挿入（27ページ）、ダビング時の接続と設定（28ページ）を済ませてください。

ちょっと一言

- あとで同じディスクに追記したい場合は、あらかじめ［自動ファイナライズ］を［オフ］に設定しておいてください（64ページ）。

1 ダビングモード選択画面を確認する。

USB端子につないだカメラ、またはスロットに挿入したメモリーカードが検出されると、ダビングモード選択画面が表示されます。

必要なディスクの枚数

接続方法



2 ↑/↓で［つづき］を選び、→を押す。

ちょっと一言

- 画像を選ぶ必要がないときは、［つづき］を選び ⊙（ダビング／録画）を押すとダビングが始まります。手順5に進んでください。

3 ダビングしたい画像の種類にチェックマークが付いていることを確認する。

↑/↓で選びENTER（選択）を押すと、チェックマークを付けたりはずしたりできます。

チェックマーク



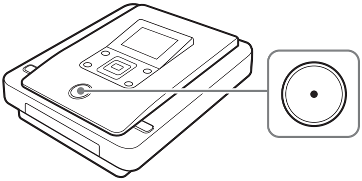
［HD 動画］と［SD 動画］を両方選んだときは

標準画質（SD）の動画とハイビジョン画質（HD）の動画は異なるディスクにダビングされます。
詳しくは、「複数の種類の画像をダビングする場合について」（20ページ）をご覧ください。

ご注意

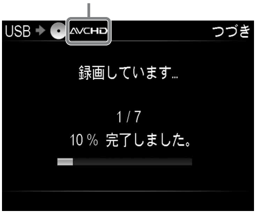
- ダビングできない画像の種類は選べません（選択されたカメラ側の記録メディアやメモリーカードに画像がない場合など）。

4 ⊙（ダビング／録画）を押す。



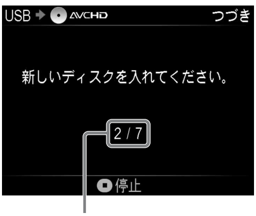
⊙（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

ハイビジョン画質（HD）の動画をダビング中は［AVCHD］マークが表示されます



5 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



次のディスク／
必要なディスクの枚数

6 ダビングが完了したら、ディスクを取り出す。

［自動ファイナライズ］が［オン］に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します（64ページ）。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、■（停止）を押す。

ダビング中は中止できません。

ちょっと一言

- 本機は、1つのカメラ（内蔵の記録メディア）またはメモリーカードごとにつづきダビング情報を保持して、新しく撮影された動画のダビングを行います。最大10個までのカメラまたはメモリーカードのつづきダビング情報を保持することができます。

メモリーカードを使ったつづきダビングのご注意

1枚のメモリーカードを複数のカメラで共有している場合、それぞれのカメラの時刻が正確に設定されていないと、本機で正常につづきダビングを行えないことがあります。カメラの時刻が正確に設定されていることをご確認ください。

プレイリストダビング

ソニー製カメラ　ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード

カメラのプレイリストどおりにダビングできます。プレイリストの作成について詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。
あらかじめ本機の電源を入れ（26ページ）、ディスクの挿入（27ページ）、ダビング時の接続と設定（28ページ）を済ませてください。

1 ダビングモード選択画面を確認する。

USB端子につないだカメラ、またはスロットに挿入したメモリーカードが検出されると、ダビングモード選択画面が表示されます。

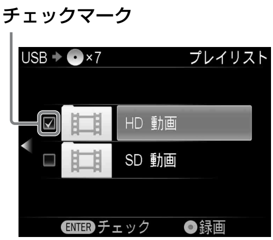


2 ↑/↓で［プレイリスト］を選び、→を押す。

ちょっと一言
- 画像を選ぶ必要がないときは、［プレイリスト］を選び⊙（ダビング／録画）を押すとダビングが始まります。手順5に進んでください。

3 ダビングしたいプレイリストの動画の種類にチェックマークが付いていることを確認する。

↑/↓で選びENTER（選択）を押すと、チェックマークを付けたりはずしたりできます。

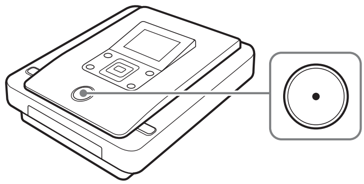


［HD 動画］と［SD 動画］を両方選んだときは

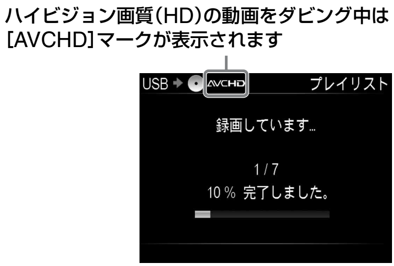
標準画質（SD）の動画とハイビジョン画質（HD）の動画は異なるディスクにダビングされます。
詳しくは、「複数の種類の画像をダビングする場合について」（20ページ）をご覧ください。

ご注意
- ダビングできない動画の種類は選べません（選択されたカメラ側の記録メディアやメモリーカードに画像がない場合など）。

4 ⊙（ダビング／録画）を押す。

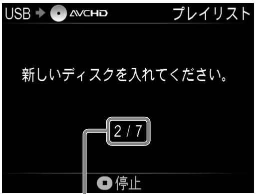


⊙（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。



5 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



次のディスク／
必要なディスクの枚数

6 ダビングが完了したら、ディスクを取り出す。

[自動ファイナライズ]が[オン]に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します(64ページ)。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、⏹(停止)を押す。

ダビング中は中止できません。

画像選択ダビング

ソニー製カメラ　ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード
他社製カメラ　メモリーカード

撮影日や画像インデックスから画像を選んでダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ（26ページ）、ディスクの挿入（27ページ）、ダビング時の接続と設定（28ページ）を済ませてください。

1 ダビングモード選択画面を確認する。

USB端子につないだカメラ、またはスロットに挿入したメモリーカードが検出されると、ダビングモード選択画面が表示されます。



2 ♠/♣で［画像選択］を選び、➡を押す。

3 ♠/♣で画像の種類を選び、➡を押す。

ちょっと一言
- 次の場合はチェックマークをはずしておくとスムーズに画像が選べます。
  - 選ぶ画像の数が少ないとき
  - ダビングしない画像の種類



［HD 動画］と［SD 動画］を両方選んだときは

標準画質（SD）の動画とハイビジョン画質（HD）の動画は異なるディスクにダビングされます。
詳しくは、「複数の種類の画像をダビングする場合について」（20ページ）をご覧ください。

ご注意
- ダビングできない画像の種類は選べません（選択されたカメラ側の記録メディアやメモリーカードに画像がない場合、他社製デジタルビデオカメラで撮影した標準画質（SD）の動画など）。

4 ダビングしたい画像の日付フォルダにチェックマークが付いていることを確認する。

♠/♣で選びENTER（選択）を押すと、チェックマークを付けたりはずしたりできます。
撮影日ごとにまとめてダビングする場合は、ダビングしたい日付フォルダにチェックマークを付けて⊙（ダビング／録画）を押すと、ダビングが始まります。手順9に進んでください。



5 ♠/♣で日付フォルダを選び、➡を押す。

6 ↑/↓でダビングしたい画像を選び、ENTER（選択）でチェックマークを付ける。

撮影時刻
（録画時間の長さではありません）



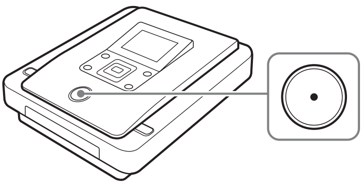
ちょっと一言

- 静止画を選んでいるときに➡を1回押すと、静止画が1枚表示されます。そのあと➡を押すたびに、静止画を右に90度ずつ回転します。

7 別の日付フォルダの画像を選ぶときは、⬅を押してから手順5〜6をくり返す。

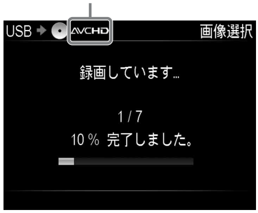
画像の種類を選び直すときは、⬅をくり返し押してください。

8 ⦿（ダビング／録画）を押す。



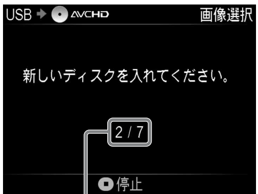
⦿（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

ハイビジョン画質（HD）の動画をダビング中は［AVCHD］マークが表示されます



9 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



次のディスク／
必要なディスクの枚数

10 ダビングが完了したら、ディスクを取り出す。

［自動ファイナライズ］が［オン］に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します（64ページ）。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、⏹（停止）を押す。

ダビング中は中止できません。

マニュアルダビング

ソニー製カメラ　ハードディスク　内蔵メモリー　8cmディスク　メモリーカード

カメラの動画を手動で再生しながらダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ（26ページ）、ディスクの挿入（27ページ）、AVケーブルの接続と設定（30ページ）を済ませてください。

ご注意

- DV規格のテープからダビングするときは、「ダビング：一般のビデオ機器から」の「マニュアルダビング」（50ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- 空きディスクを挿入し、「SD画質のディスクを作るためにディスクを初期化しますか？」と表示された場合は［はい］を選んでください。初期化には数十秒かかります。なお、ここで初期化されたディスクへは、ハイビジョン画質（HD）の動画はダビングできません。

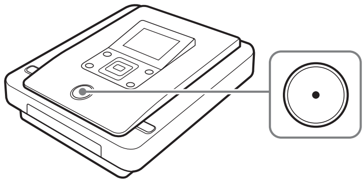
1 トップ画面でENTER（選択）を押す。

2 ↑/↓でビデオ機器をつないでいる入力（［S-VIDEO］または［VIDEO］）を選び、ENTER（選択）を押す。



つないだカメラの画像が表示されます。

3 カメラを操作して動画を再生しながら、本機の⊙（ダビング／録画）を押す。



本機に［録画中］と表示され、⊙（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。



ダビングを一時停止するには

ダビング中に⊙（ダビング／録画）を押す。
再開するには、もう一度⊙（ダビング／録画）を押してください。

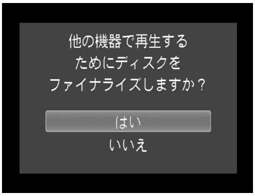
4 ⊡（停止）を押し、ダビングを停止する。

5 ダビングを続けるときは、手順3〜4をくり返す。

6 ダビングが完了したら、⏏（開／閉）を押す。

7 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER（選択）を押す。

ファイナライズをしない場合は[いいえ]を選ぶとディスクトレイが開きます。手順8を行う必要はありません。



ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、[自動ファイナライズ]または[ファイナライズ]（64ページ）をご覧ください。

8 ↑/↓で[OK]を選び、ENTER（選択）を押す。



ファイナライズが終了すると、自動でディスクトレイが開きます。

カメラをつないでダビングする場合のご注意

- ディスクを入れ、10分以上放置してからダビングを開始すると、⊙（ダビング／録画）を押してから実際に動画がディスクに記録されるまで、数秒ほど時間がかかります。ダビングするときはディスク挿入後すみやかに開始してください。
- ◉（停止）を押しても、しばらくの間ディスクは回転し、回転音が聞こえます。

ワンタッチダビング

ソニー製カメラ　ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード

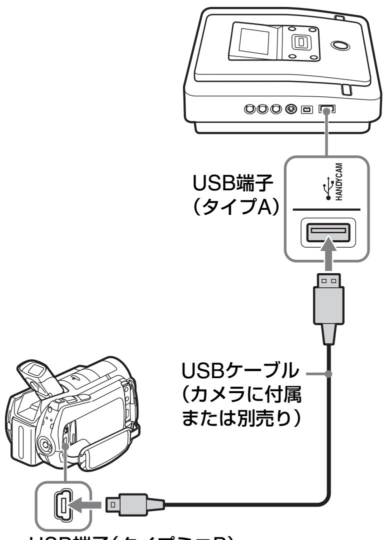
カメラのワンタッチディスクボタンを押すだけで、カメラの画像を簡単にダビングできます。つづきダビング（38ページ）と同様、前回ダビングしたあとに新しく撮影された画像のみをダビングしてディスクに追加できます。

1 本機の電源を入れ（26ページ）、ディスクを本機に挿入する（27ページ）。

2 カメラの電源を入れる。

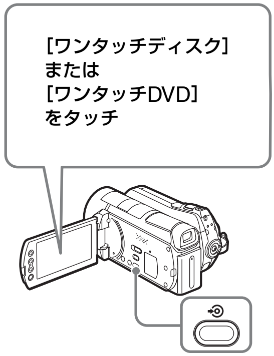
ご注意
- カメラは必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

3 カメラを本機につなぐ。



カメラの液晶画面に［USB機能選択］画面が表示されます。

4 カメラ画面の［ワンタッチディスク］をタッチする。またはカメラ本体やハンディカムステーションのワンタッチディスクボタン（ ）を押す。



ダビングが始まります。

標準画質（SD）とハイビジョン画質（HD）の動画が両方撮影されているときは

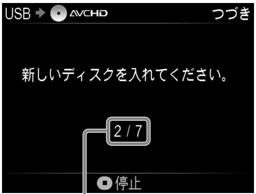
標準画質（SD）の動画とハイビジョン画質（HD）の動画は異なるディスクにダビングされます。

詳しくは、「複数の種類の画像をダビングする場合について」（20ページ）をご覧ください。

ご注意
- お使いのカメラによって、画面上や本体ボタンの名称や絵が異なる場合があります（例［ワンタッチDVD］など）。
- 複数の種類の記録メディアを搭載するカメラ（ハイブリッドハンディカムを除く）からワンタッチダビングを行う場合、ダビングできる記録メディアは1種類です。またワンタッチダビングに対応する記録メディアの種類は、カメラによって異なります。
（例えば、ハードディスクとメモリーカードを搭載するハンディカムをつないでワンタッチダビングを行うと、ハードディスクに保存された動画をダビングできますが、メモリーカードに保存された動画はダビングできません。）
- ハイブリッドプラスハンディカムの「DUBBING」ボタンは、ワンタッチディスクボタンとは異なります。「DUBBING」ボタンを押しても本機にはダビングできません。

5 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



次のディスク／
必要なディスクの枚数

6 ダビングが完了したら、ディスクを取り出す。

[自動ファイナライズ]が[オン]に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します（64ページ）。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、◉（停止）を押す。

ダビング中は中止できません。

まるごとダビング（DV テープからダビング）

ソニー製カメラ　DVテープ
他社製カメラ　DVテープ

本機がビデオ機器の再生や停止を自動で操作して、テープに撮影されたすべての動画をダビングします。
あらかじめ本機の電源を入れ（26ページ）、ディスクの挿入（27ページ）、DV（i.LINK）ケーブルの接続と設定（29ページ）を済ませてください。

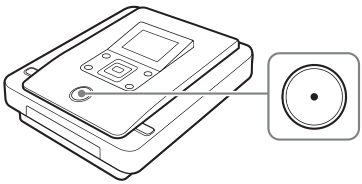
1 ダビングモード選択画面を確認する。

DV IN端子につないだ機器が検出されると、ダビングモード選択画面が表示されます。



ご注意
- ダビングモード選択画面が表示されない場合は、トップ画面でENTER（選択）を押し、[入力選択]画面で[DV]を選んでください。

2 ↑/↓で[まるごと]を選び、⊙（ダビング／録画）を押す。



ビデオ機器のテープが自動的に最初まで巻き戻され再生されると同時に、ダビングが始まります。本機には[録画中]と表示され、⊙（ダビング／録画）が点灯します。ダビング中は以下の画面が表示されます。



ダビングを一時停止するには
ダビング中に⊙（ダビング／録画）を押す。
再開するには、もう一度⊙（ダビング／録画）を押してください。

ダビングを中止するには
ダビング中に⊡（停止）を押して、次にRETURN（戻る）を押す。
ダビングを中止して手順1の画面に戻ります。

3 ダビングが完了したら、ディスクを取り出す。

[自動ファイナライズ]が[オン]に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します（64ページ）。

ちょっと一言
- テープの終わりや2分間以上の空き部分を検出すると、自動的にダビングを終了します。

まるごとダビング（静止画のダビング）

ソニー製カメラ　メモリーカード
他社製カメラ　メモリーカード

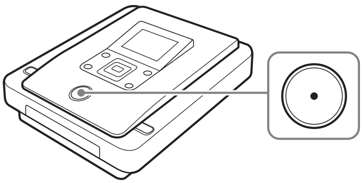
カメラなどで撮影したすべての静止画をダビングします。
あらかじめ、ディスクとメモリーカードの挿入（27、34ページ）を済ませてください。

1 ダビングモード選択画面を確認する。

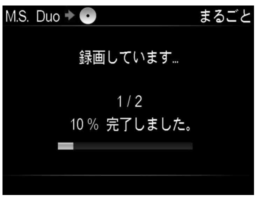
メモリーカードスロットに挿入したメモリーカードが検出されると、ダビングモード選択画面が表示されます。



2 ♦/♦で[まるごと]を選び、⊙（ダビング／録画）を押す。



⊙（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。



3 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。
自動的にダビングを再開します。



4 ダビングが完了したら、ディスクを取り出す。

[自動ファイナライズ]が[オン]に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します（64ページ）。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、⊡（停止）を押す。

ダビング中は中止できません。

マニュアルダビング

ソニー製カメラ　DVテープ　一般ビデオ機器
他社製カメラ　DVテープ

ビデオ機器の動画を手動で再生しながらダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ(26ページ)、ディスクの挿入(27ページ)、ビデオ機器の接続と設定(29、30ページ)を済ませてください。

ちょっと一言

- 空きディスクを挿入し、「SD画質のディスクを作るためにディスクを初期化しますか？」と表示された場合は[はい]を選んでください。初期化には数十秒かかります。なお、ここで初期化されたディスクへは、ハイビジョン画質(HD)の動画はダビングできません。

1 ビデオ機器を正しくつないでいることを確認する。

DV(i.LINK)ケーブルでの接続の場合

DV IN端子につないだ機器が検出されると、ダビングモード選択画面が表示されます。

↑/↓で[マニュアル]を選び、→を押してください。



ご注意

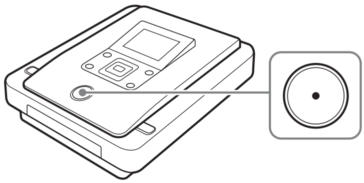
- ダビングモード選択画面が表示されない場合は、トップ画面でENTER(選択)を押し、[入力選択]画面で[DV]を選んでください。

映像／音声ケーブル(AVケーブル)での接続の場合

トップ画面でENTER(選択)を押し、[入力選択]画面を表示させます。次に↑/↓でビデオ機器をつないでいる入力([S-VIDEO]または[VIDEO])を選び、ENTER(選択)を押してください。

2 ビデオ機器を操作して動画を再生しながら、本機の⊙(ダビング／録画)を押す。





本機に[録画中]と表示され、⊙(ダビング／録画)が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。



ダビングを一時停止するには

ダビング中に⊙(ダビング／録画)を押す。
再開するには、もう一度⊙(ダビング／録画)を押してください。

ちょっと一言

- 本機はビデオ機器からの映像信号を検出しながら自動でダビングを開始／停止します。例えば、以下のように動作します。
  – ビデオ機器の再生を始める前に本機の⊙（ダビング／録画）を押すと、映像信号が入力されるまで本機はダビングを開始せずに待機します。あとで再生を始めると、本機も自動でダビングを開始します。
  – ダビング中にビデオ機器の再生を停止すると、映像信号が途切れ本機はダビングを一時中断します。再び再生を始めると本機もダビングを再開します。

  このようなダビングを開始せず映像信号を待っているときは、本機の画面に「入力信号を待っています。」と表示されます。2分間この状態が続くと、本機はダビングを停止します。
  （ただしビデオ機器によっては、再生時以外にも機器の操作画面やテレビ番組などの映像信号を常に出力しているため、上記のように動作しない場合があります。）

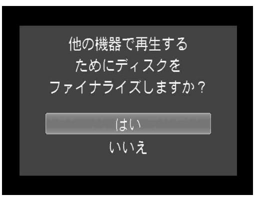
3 ◉（停止）を押し、ダビングを停止する。

4 ダビングを続けるときは、手順2〜3をくり返す。

5 ダビングが完了したら、⏏（開／閉）を押す。

6 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER（選択）を押す。

ファイナライズをしない場合は[いいえ]を選ぶとディスクトレイが開きます。手順7を行う必要はありません。



ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、[自動ファイナライズ]または[ファイナライズ]（64ページ）をご覧ください。

7 ↑/↓で[OK]を選び、ENTER（選択）を押す。



ファイナライズが終了すると、自動でディスクトレイが開きます。

ビデオ機器をつないでダビングする場合のご注意

- ビデオカメラをDV（i.LINK）ケーブルでつないでダビングする場合、ビデオカメラの液晶画面よりも少し遅れて、本機のディスプレイに動画が表示されます。ダビングするときは、本機のディスプレイに表示される動画を見ながら操作してください。
- ディスクを入れ、10分以上放置してからダビングを開始すると、⊙（ダビング／録画）を押してから実際に動画がディスクに記録されるまで、数秒ほど時間がかかります。ダビングするときはディスク挿入後すみやかに開始してください。
- ◉（停止）を押しても、しばらくの間ディスクは回転し、回転音が聞こえます。

画像選択ダビング（静止画のダビング）

ソニー製カメラ　メモリーカード

他社製カメラ　メモリーカード

カメラなどで撮影した静止画を、撮影日や画像インデックスから選んでダビングできます。
あらかじめ本機の電源を入れ（26ページ）、ディスクとメモリーカードの挿入（27、34ページ）を済ませてください。

1 ダビングモード選択画面を確認する。

メモリーカードスロットに挿入したメモリーカードが検出されると、ダビングモード選択画面が表示されます。



2 ↑/↓で［画像選択］を選び、→を押す。

3 ［静止画］が選ばれていることを確認して、→を押す。



ちょっと一言

- すべての静止画をダビングするときは、（ダビング／録画）を押すとダビングが始まります。手順9に進んでください。

4 ダビングしたい静止画の日付フォルダにチェックマークが付いていることを確認する。

↑/↓で選びENTER（選択）を押すと、チェックマークを付けたりはずしたりできます。

撮影日ごとにまとめてダビングする場合は、ダビングしたい日付フォルダにチェックマークを付けて（ダビング／録画）を押すと、ダビングが始まります。手順9に進んでください。



5 ↑/↓で日付フォルダを選び、→を押す。

6 ↑/↓でダビングしたい静止画を選び、ENTER（選択）でチェックマークを付ける。



ご注意

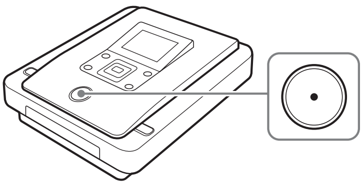
- ダビングする静止画によっては、サムネイル画像が表示されない場合があります。

ちょっと一言

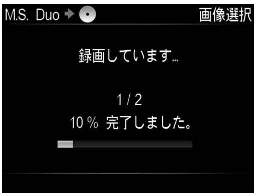
- →を1回押すと、静止画が1枚表示されます。そのあと→を押すたびに、静止画を右に90度ずつ回転します。

7 別の日付フォルダの画像を選ぶときは、←を押してから手順5～6をくり返す。

8 ⊙（ダビング／録画）を押す。

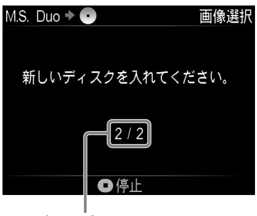


⊙（ダビング／録画）が点灯してダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。



9 新しいディスク挿入のメッセージが表示されたら、ディスクを交換する。

ダビングが1枚のディスクで終わらないときは、メッセージが表示されて自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、空きディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



次のディスク／
必要なディスクの枚数

10 ダビングが完了したら、ディスクを取り出す。

［自動ファイナライズ］が［オン］に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します（64ページ）。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、◉（停止）を押す。

ダビング中は中止できません。

再生時の接続をする(テレビとの接続)

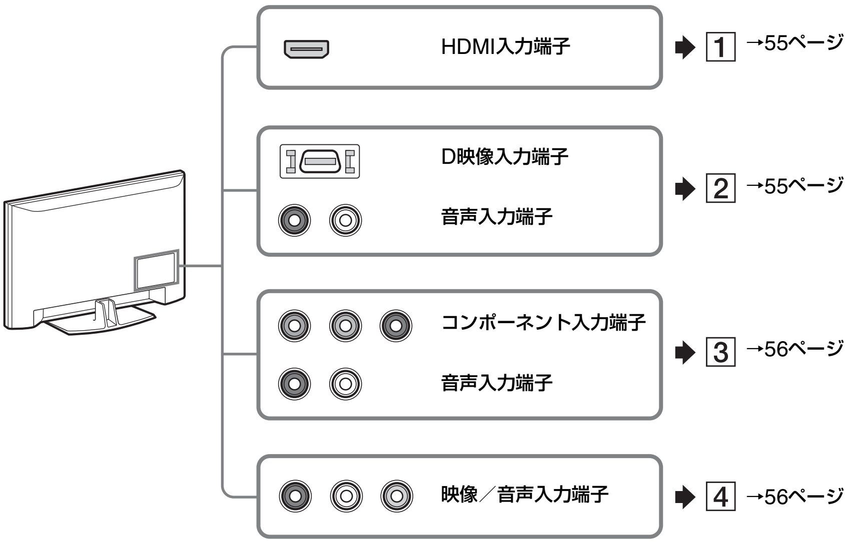
本機でダビングしたディスクは本機で再生もできます。再生画像は、本機のディスプレイまたはテレビにつないで視聴できます。
テレビで画像を見るには、本機とテレビとの接続・設定が必要です。テレビの種類やつなぐ端子によって、接続方法やテレビに映る画質が異なります。お使いのテレビに合わせて、1〜4から接続方法を選んでください。

ご注意

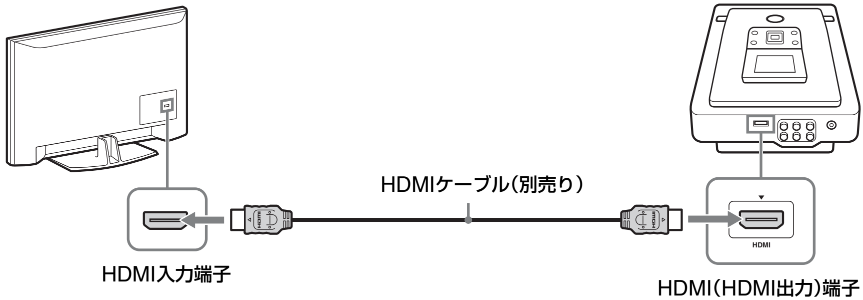
- テレビ画面に表示されるのは、ディスク再生時の画像や操作画面のみです。ダビング中またはダビングや設定メニューの操作中など、再生以外の画面は表示されません。
- 外部出力に切り換えるときは、トップ画面を表示させてから操作してください。また外部出力に切り換えると、本機のディスプレイには画像が表示されません。
- 本機とテレビをHDMIケーブル、D端子コンポーネント映像ケーブル、またはコンポーネント映像ケーブルでつないで標準画質(SD)のディスクを再生する場合、トップ画面から再生画像へ切り換わるときや、再生画像からトップ画面に戻るとき(画像の解像度が切り換わるとき)に画面が乱れることがありますが、故障ではありません。

ちょっと一言

- ハイビジョン画質(HD)のディスクを再生する場合は、HDMI端子またはD映像端子、コンポーネント端子につなぐと高画質で再生できます。

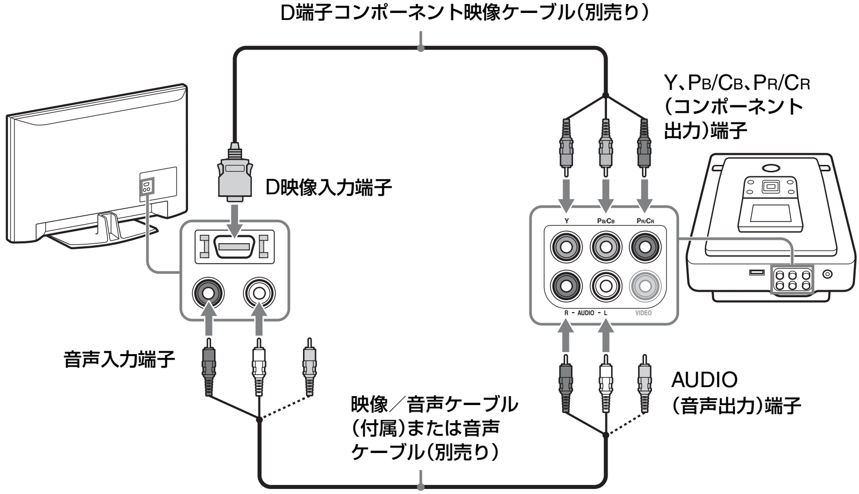


1 HDMIケーブルでつなぐ



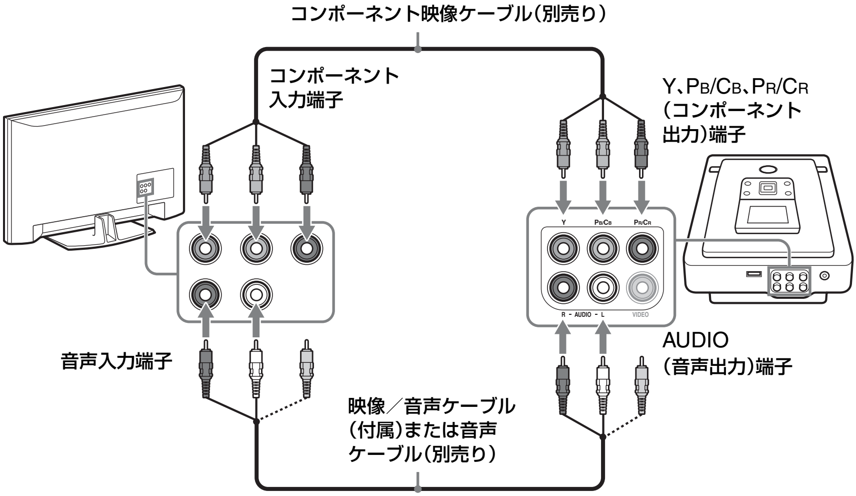
ご注意
- HDMIケーブルはHDMIロゴ（表紙参照）がついているものをお使いください。
- 一部のテレビでは、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機とテレビの出力端子同士をつながないでください。故障の原因となります。
- テレビのHDMI入力が5.1chサラウンドに対応している場合、5.1ch音声で記録されたディスクは、自動的に5.1ch音声で出力されます。
- 本機は「ブラビアリンク」などのHDMIコントロール（HDMI CEC）には対応していません。

2 D映像／音声ケーブルでつなぐ



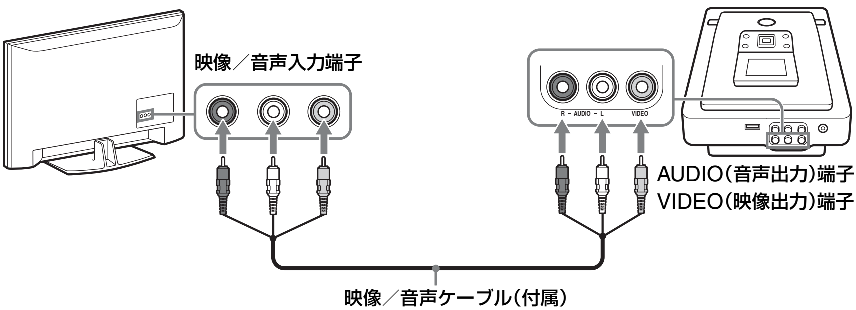
ご注意
- D端子コンポーネント映像ケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤の端子（音声）にもケーブルをつないでください。

3 コンポーネント／音声ケーブルでつなぐ



ご注意
- コンポーネント映像ケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤の端子(音声)にもケーブルをつないでください。

4 映像／音声ケーブルでつなぐ



ビデオ機器経由でテレビにつなぐには

ビデオ機器の入力端子に合わせて接続方法を選んでください。
ビデオ機器の外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切換スイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換えてください。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

映像／音声ケーブルの黄色いプラグを映像入力端子へ、白いプラグ(左音声)を音声入力端子へつないでください。

動画を再生する

本機でダビングしたディスクのみ再生できます。

ご注意

- 本機以外の機器でダビングしたディスクや市販のDVDビデオソフト、メモリーカードを本機に挿入して、画像を再生することはできません。
- 再生画像を本機のディスプレイで見る場合、音声は出ません。

ちょっと一言

- 本機は「x.v.Color」に対応しています。「x.v.Color」に対応したハイビジョンテレビ〈ブラビア〉にHDMIケーブル(別売り)を使ってつなげば、「x.v.Color」に対応したハイビジョンハンディカムで撮影した動画を、ありのままの色により近い自然な色彩のまま再生できます(ハイビジョンハンディカムの[X.V.COLOR]設定が[入]で撮影された動画をダビングしたディスクの再生時)。
- 720pで撮影されたハイビジョン画質(HD)の動画は、[HDMI設定]を[1080i]に設定していても自動的に720pで出力します。

テレビにつないで見る場合

あらかじめ、テレビの接続を済ませてください(54ページ)。

1 テレビを本機からの入力に切り換える。

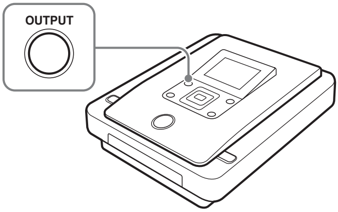
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源を入れる。

トップ画面が表示されます。



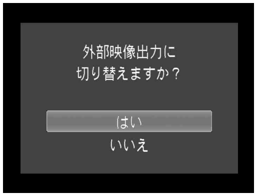
3 OUTPUT(出力切換)を押す。



ご注意

- 手順2でトップ画面が表示されていない時は、OUTPUT(出力切換)を押しても外部出力へ切り換えることはできません。

4 ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。



出力先を示すランプが点灯します(24ページ)。

5 OUTPUT(出力切換)をくり返し押して、本機の出力を切り換える。

OUTPUT(出力切換)を押すたびに出力が以下の順番で切り換わります。

映像出力→コンポーネント出力→HDMI出力→出力なし(本機ディスプレイ表示)

6 本機でダビングしたディスクを挿入し、⊳(再生)を押す。

再生

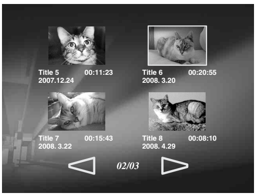
7 動画と静止画が1枚のディスクにダビングされているときは、↑/↓で[動画]を選び、ENTER(選択)を押す。



ファイナライズしていないディスクは、再生が始まります。

ファイナライズ済みディスクを再生するときは手順8に進んでください。

8 ↓/↑/←/→で再生したい動画を選び、⊳(再生)を押す。



例:標準画質(SD)のディスク(77ページ)

再生が始まります。

再生を停止するには

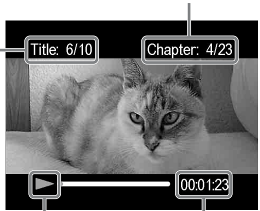
■(停止)を押します。再び⊳(再生)を押すと、■(停止)を押したところから再生を始めます。ディスクを最初から再生したいときは、もう一度ディスクを入れなおしてから、⊳(再生)を押してください。

ちょっと一言

- ファイナライズされたディスクの場合、ディスクメニューを表示し、再生したいタイトルを選べば、最初から再生できます(77ページ)。

再生中の画面について

再生中にリモコンのDISPLAYボタンを押すと以下のような再生情報が表示されます。もう一度ボタンを押すと元の画面に戻ります。



チャプターやシーン、タイトル番号などについて詳しくは、「ダビングしたディスクについて」(77ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- ハイビジョンテレビにつないでハイビジョン画質(HD)の動画を再生すると、シーン番号、タイトル番号は画面下に表示されます。

本機のディスプレイで見る場合

1 本体の電源を入れ、本機でダビングしたディスクを挿入する。

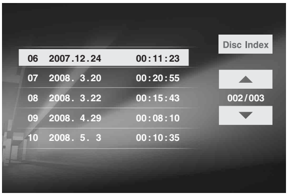
2 ⊳(再生)を押す。

3 「テレビにつないで見る場合」(57ページ)」の手順7以降を行う。

ディスクインデックス機能で再生する場合

ハイビジョン画質（HD）の動画の各シーンの初めから10秒間を順次再生できます。

「テレビにつないで見る場合」（57ページ）の手順8で、表示されたハイビジョン画質（HD）のディスクメニューから［Disc Index］を選ぶ。



各シーンの初めから10秒間が順番に再生されます。ダビングされたシーンが長い場合は、5分ごとに自動的にインデックスを作成し、10秒間再生します。
ディスクインデックス再生中にENTER（選択）を押すと、通常の再生が始まります。
ディスクインデックス再生中は、再生情報が表示されます。リモコンのDISPLAYボタンを押すと表示は消えます。

再生中の操作（再生用リモコン）

ボタン	操作
DISPLAY	再生情報表示
I▶/▶▶	再生中に押す：早送り再生 早送り再生中に押す：早送りの速さを3段階に切り換え 一時停止中に押す：離すまでスロー再生
◀◀	再生中に押す：早戻し再生 早戻し再生中に押す：早戻しの速さを切り換え
▶▶I	次のタイトル／チャプター／シーンへ
I◀◀	今／前のタイトル／チャプター／シーンの先頭へ （1つ前のタイトル／チャプター／シーンに戻るには2回押してください）
PLAY（▷）*1	通常の再生に戻る
PAUSE	一時停止／一時停止解除
STOP（■）*1	再生を停止する （トップ画面または動画／静止画選択画面へ戻る）
MENU	ディスクメニュー表示*2
◀/▶（←/→）*1	再生中に押す：早送り再生／早戻し再生 早送り／早戻し再生中に押す：早送り／早戻しの速さを切り換え
RETURN*1	トップ画面または動画／静止画選択画面へ戻る

*1 同様の操作が可能な本体ボタン。
*2 ファイナライズ済みディスクのみ。

静止画を再生する

本機でダビングしたディスクのみ再生できます。

ご注意

- 本機以外の機器でダビングしたディスクや市販のDVDビデオソフト、メモリーカードを本機に挿入して、画像を再生することはできません。

テレビにつないで見る場合

あらかじめ、テレビの接続を済ませてください(54ページ)。

1 テレビを本機からの入力に切り換える。

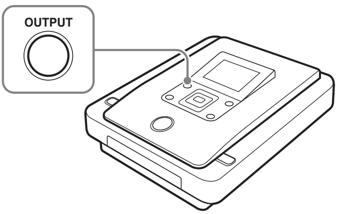
詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源を入れる。

トップ画面が表示されます。



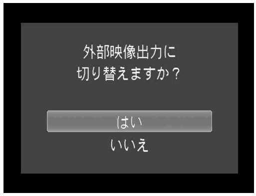
3 OUTPUT(出力切換)を押す。



ご注意

- 手順2でトップ画面が表示されていない時は、OUTPUT(出力切換)を押しても外部出力へ切り換えることはできません。

4 ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。



出力先を示すランプが点灯します(24ページ)。

5 OUTPUT(出力切換)をくり返し押して、本機の出力を切り換える。

OUTPUT(出力切換)を押すたびに出力が以下の順番で切り換わります。

映像出力→コンポーネント出力→HDMI出力→出力なし(本機ディスプレイ表示)

6 本機でダビングしたディスクを挿入し、(再生)を押す。

7 動画と静止画が1枚のディスクにダビングされているときは、↑/↓で[静止画]を選び、ENTER(選択)を押す。



8 ↑/↓で日付を選び、→を押す。



9 ↑/↓で表示したい静止画を選び、→を押す。

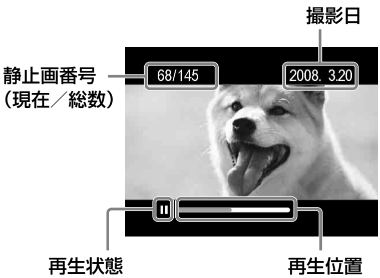


選んだ静止画が表示されます。

前または次の静止画を表示したいときは、↑/↓を押してください。

再生中の画面について

再生中にリモコンのDISPLAYボタンを押すと以下のような再生情報が表示されます。もう一度ボタンを押すと元の画面に戻ります。



スライドショー再生中：▶

静止画表示中：❚❚

ちょっと一言

- ハイビジョンテレビにつないで静止画を再生すると、静止画番号、撮影日は画面下に表示されます。

本機のディスプレイで見る場合

1 本機の電源を入れ、本機でダビングしたディスクを挿入する。

2 ⊳（再生）を押す。

3 「テレビにつないで見る場合」（60ページ））の手順7以降を行う。

スライドショーで再生する場合

「本機のディスプレイで見る場合」（61ページ）で、日付または静止画を選んだあとに、⊳（再生）を押す。

選んだ日付の静止画から、または選んだ静止画から順番に連続再生されます。選んだ日付／静止画以降のディスク内のすべての静止画が再生されます。テレビにつないで見る場合、本機に用意されている音楽（BGM）やあらかじめ取り込んでおいたお気に入りの音楽も同時に再生されます（64ページ）。

再生中の操作（再生用リモコン）

静止画表示中

ボタン	操作
DISPLAY	再生情報表示
▶▶I	次の静止画を表示
I◀◀	前の静止画を表示
PLAY（▷）*	スライドショー再生を開始
STOP（■）*	表示を停止する（トップ画面または動画／静止画選択画面へ戻る）
▲/▼（↑/↓）*	前／次の静止画を表示
▶（→）*	静止画を右に90度回転
◀（←）*	静止画一覧に戻る
RETURN*	静止画一覧に戻る

スライドショー再生中

ボタン	操作
DISPLAY	再生情報表示
PAUSE	再生中の静止画の表示を続ける（PLAY（再生）でスライドショーを再開）
STOP（■）*	再生を停止する（トップ画面または動画／静止画選択画面へ戻る）
RETURN*	静止画一覧に戻る

* 同様の操作が可能な本体ボタン。

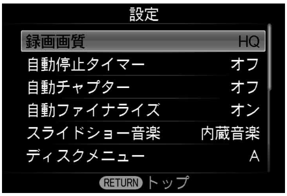
設定メニューを使う

設定メニューでは、本機のさまざまな機能や動作をお好みに合わせて変更できます。

1 本機の電源を入れ、RETURN(戻る)を押す。



2 ↑/↓で確認・変更したい項目を選び、ENTER(選択)を押す。



➔マークはお買い上げ時の設定です。

録画画質(録画モード)

標準画質(SD)でダビングするときの画質を選びます。
映像／音声ケーブルおよびAVケーブル、S映像ケーブル、DV(i.LINK)ケーブルを使ってダビングする場合のみ有効です。

➔ HQ
最高画質でダビングします。

HSP
高画質でダビングします。

SP
標準的な画質でダビングします。

LP
長時間ダビングします。

ちょっと一言
- 録画モードによってディスクにダビングできる時間は異なります(76ページ)。

自動停止タイマー

標準画質(SD)でダビングするときに、自動的にダビングを停止する時間を選びます。
映像／音声ケーブルおよびAVケーブル、S映像ケーブルを使ってダビングする場合のみ有効です。

➔ オフ
自動的に停止しません。

30分〜4時間
ダビング開始後、設定した時間が経過すると、自動的にダビングが停止します。30分、60分、90分、2時間、3時間、4時間から選びます。

ご注意
- 次の場合、[自動停止タイマー]設定は解除されます。
  – ダビングが終了したとき
  – ダビング中に■(停止)を押したとき
  – 本機の電源を切ったとき

自動チャプター

標準画質(SD)のディスクに自動で記録するチャプターの間隔を設定します。
映像／音声ケーブルおよびAVケーブル、S映像ケーブル、DV(i.LINK)ケーブルを使ってダビングする場合のみ有効です。

オフ
チャプターで区切りません。

➔ 5分
約5分間隔でチャプターを区切ります。

10分
約10分間隔でチャプターを区切ります。

15分
約15分間隔でチャプターを区切ります。

自動ファイナライズ

他の機器で再生できるようにするための処理（ファイナライズ）を、ディスクへのダビングが終わったあとに引き続き自動で行うかどうかを設定します。

→オン
ディスクへのダビングのあとに自動でファイナライズします。ダビングしたディスクは他の機器で再生できます。

オフ
ファイナライズしないでダビングを完了します。ダビングしたディスクには動画や静止画を追記できます。

ご注意
- 本機でファイナライズしないと他の機器で再生できません。
- ファイナライズしたディスクへの画像の追記はできません。
- まるごとダビングなどでディスクが複数枚にわたる場合、[自動ファイナライズ]の設定にかかわらず、最後の1枚以外のディスクは自動でファイナライズされます。
- まるごとダビングなどで標準画質（SD）とハイビジョン画質（HD）の動画を同時にダビングする場合、[自動ファイナライズ]を[オフ]にしていても、画質ごとの最後の1枚以外のディスクは自動でファイナライズされます。ディスクが1枚のみのときや最後の1枚のときは、ダビングが終わると「ファイナライズしますか？」というメッセージが表示されます。ファイナライズするかどうかを選んでください。
- マニュアルダビングの場合、[自動ファイナライズ]が[オン]になっていても自動ではファイナライズされません。

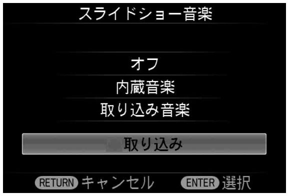
ディスクメニュー

本機でダビングしたディスクに使うディスクメニューの背景画像を、用意されているA、B、C、Dの4種類の画像から選びます。お買い上げ時は[A]に設定されています。

スライドショー音楽

お気に入りの曲をスライドショーの音楽（BGM）に取り込むことができます。

① 取り込みたい曲の入ったCDを入れ、↑/↓で[取り込み実行]を選び、ENTER（選択）をおす。



② ↑/↓でトラック番号を選び、⊙（ダビング／録画）を押す。



曲の取り込みが始まり、本機には[取り込み中]と表示されます。
「完了しました。」と表示されたら、取り込みは終了です。

ちょっと一言
- 音声入力端子のある機器と本機のAUDIO（音声出力）端子をつないでいる場合、トラック番号を選ぶと曲を再生できます。

ご注意
- 取り込める曲は、1曲のみで最大10分までです。
- コピーコントロールCDなど、コンパクトディスクの規格と異なるディスクは使用できません。

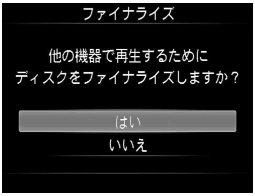
ファイナライズ

ファイナライズせずに取り出したディスクを、あとでファイナライズできます。

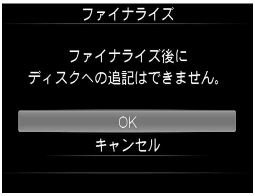
① **ファイナライズしたいディスクを入れ、↑/↓で[ファイナライズ]を選び、ENTER(選択)を押す。**



② **↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。**



③ **↑/↓で[OK]を選び、ENTER(選択)を押す。**



ファイナライズが始まります。
「完了しました。」と表示されたら、ファイナライズは終了です。

ご注意
- ファイナライズには数分かかります。(ディスクの内容によっては、さらに時間がかかります。)

ディスクの消去

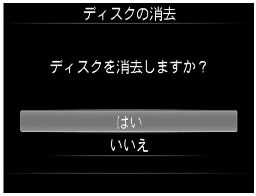
DVD-RWやDVD+RWに記録したすべての画像を消去します。ディスクは空きディスクとして再利用できます。

ご注意
- この操作では、すべてのデータを消去するのでご注意ください。

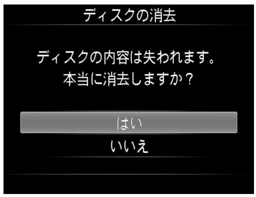
① **消去したいディスクを入れ、↑/↓で[ディスクの消去]を選び、ENTER(選択)を押す。**



② **↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。**



③ **↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。**



ディスクの消去が始まります。
「完了しました。」と表示されたら、消去は終了です。

COMPONENT設定

コンポーネント出力端子からの映像信号の種類を選びます。

→ 480i
480iの映像信号を出力します。

480p

480pの映像信号を出力します。

1080i

1080iの映像信号を出力します。

HDMI設定

YCbCr/RGB

HDMI出力端子からの映像信号の色空間変換を設定します。

→ 自動

通常はこの設定にします。

YCbCr 4:2:2

Y/CB/CRを4:2:2 の比率で色変換します。

YCbCr 4:4:4

Y/CB/CRを4:4:4 の比率で色変換します。

RGB 16-235

出力信号をRGB16～235の範囲で色変換します。

RGB 0-255

出力信号をRGB0～255の範囲で色変換します。

解像度

HDMI出力端子からの映像信号の種類を選びます。

→ 自動

通常はこの設定にします。

480p

480pの映像信号を出力します。

1080i

1080iの映像信号を出力します。

ちょっと一言

- 720pで撮影されたハイビジョン画質（HD）の動画は、[1080i]に設定していても自動的に720pで出力します。

音声

HDMI出力端子からの音声信号の出力を設定します。

→ 自動

通常はこの設定にします。テレビで受けられる最適な音声信号を出力します。

PCM

音声信号を常に2チャンネルのリニアPCM信号にダウンミックスし、HDMI出力端子から出力します。

ご注意

- ドルビーデジタルやDTS、AACに対応しないテレビに本機をつないで[自動]を選ぶと、音が出ないことがあります。その場合は[PCM]を選んでください。

システム情報

本機のシステムソフトウェアのバージョンを確認できます。

[システム情報]を選ぶと、画面に本機のシステムソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

[システムリセット]を選ぶと、本機に蓄積された情報が一括して消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

ちょっと一言

- システムソフトウェアとは、本機を動作させる内蔵ソフトウェアです。
- [システムリセット]を選ぶと、変更した設定項目やつづきダビングのためのつづき情報なども消去されます。

デモ

本機を一定時間操作しないと、デモが自動的に画面に表示されます。

オフ

デモを行いません。

→ オン

デモを行います。

TVタイプ

本機とつなぐテレビの横縦比を選びます。

➔ 16:9
ワイドテレビとつなぐときに選びます。

4:3
4:3の画面のテレビとつなぐときに選びます。

言語(Language)

画面に表示する言語を選びます。

故障かな？と思ったら

ソニーの相談窓口にご相談になる前に、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、お使いのカメラやビデオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

こんなときは

ハイビジョン画質（HD）で撮影したカメラの動画から、標準画質（SD）に変換してダビングするには？

- カメラと本機を、AVケーブル（S映像プラグ付き）やAVケーブルでつないでください（30ページ）。USBケーブルは使用できません。

電源について

電源が入らない。

- 電源プラグがしっかり差し込まれているか確認してください（26ページ）。
- 電源プラグを抜き、つないでいるビデオ機器やメモリーカードをはずして、すべての操作を最初からやり直してください。

接続と操作について

カメラをUSBケーブルでつないでも操作できない。

- 対応するソニー製カメラを使用しているかどうか確認してください。
- カメラ側で、USB接続の操作や設定が正しく行われているかどうか確認してください（28ページ）。
- 本機からUSBケーブルを抜き、本機とカメラの電源を入れ直してから操作を行ってください。

カメラをDV（i.LINK）ケーブルでつないでも操作できない。

- カメラを再生モードに切り換えているかどうか確認してください。撮影モードではダビングできません（29ページ）。
- 本機からDV（i.LINK）ケーブルを抜き、本機とカメラの電源を入れ直してから操作を行ってください。

本機のVIDEO INまたはS VIDEO IN端子につないだビデオ機器からの動画が、本機のディスプレイに映らない。

- 本機につないでいる映像／音声またはS映像ケーブルが、ビデオ機器側の出力端子につないであることを確認してください。
- ビデオ機器から映像信号が出力されていません。ビデオ機器の電源を入れ、必要な設定や再生などの操作を行ってください。
- 入力端子が正しく選ばれているか確認してください。トップ画面でENTER（選択）を押し、ビデオ機器をつないでいる入力（[S-VIDEO]または[VIDEO]）を選びます。

ダビングの操作画面で、必要なディスク枚数が表示されない。

- ダビングする画像の数が多いと、表示するまで時間がかかります。

画像選択ダビングで画像に🚫が表示される。

- 🚫が表示された画像はダビングできません。

テレビでの再生

テレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- テレビの入力を、本機につないでいる入力端子に切り換えてください。
- 本機のOUTPUT（出力切換）を押して、本機の出力をテレビにつないでいる出力端子に切り換えてください（57、60ページ）。そのときにテレビにつないでいる出力のランプ（24ページ）が点灯していることを確認してください。

テレビにつないで再生した画像が、ダビングした画像の縦横比と異なる。

- 本機の[ＴＶタイプ]（67ページ）が、テレビに合わせて正しく設定されているか確認してください。
- テレビの画面設定を変更してください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ディスクの再生

ダビングした標準画質(SD)のディスクを、他のDVD機器で再生できない。

- ディスクがファイナライズされていない可能性があります。本機で[ファイナライズ]を行ってください(65ページ)。
- ディスクと機器の組み合わせによっては、正しく再生できない場合があります。
- ご使用の機器が、ダビングしたディスクの種類(DVD+R、DVD+RW、DVD+R DL、などの記録型ディスクの種類)に対応していない可能性があります。ご使用の機器が対応する記録型ディスクの種類を確認してください。

ダビングしたハイビジョン画質(HD)のディスクを、他の機器で再生できない。

- ハイビジョン画質(HD)のディスクは、一般のDVD機器では再生できません。ハイビジョン画質(HD)のディスクは、AVCHD規格の再生に対応する機器(ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなど)で再生できます(21ページ)。

ディスクにダビングした静止画が他の機器で再生できない。

- JPEGファイルの再生に対応していない機器では再生できません。
- JPEGファイルの再生に対応する機器での操作方法は、動画の再生方法とは大きく異なる場合があります。機器の操作方法をご確認ください。

画面メッセージの例

この動作中は映像出力を選択できません。

- ダビング中またはダビングや設定メニューの操作中など、再生以外の画面を外部に出力することはできません。

未対応のUSB機器です。接続された機器を確認してください。

- USB端子に、本機が対応しないUSB機器をつないでいます。
- 本機が対応するカメラを検出しましたが、カメラ側のUSB接続設定や準備が正しく行われていない可能性があります。

本機が対応するディスクを入れてください。

- 本機が対応していないディスクが挿入されています。対応するディスクを入れてください。
- 他の機器でダビングしたDVD-RWやDVD+RWディスクを挿入した場合、そのままでは使用できません。本機で[ディスクの消去]を行ってください(65ページ)。

ファイナライズされたディスクには録画できません。

- ディスクはすでにファイナライズされています。このディスクに動画や静止画を追記することはできません。

録画できる映像がありません。

- カメラやメモリーカードに、ダビングできる動画や静止画が入っていません。
- カメラのプレイリストに、登録されている動画がありません(プレイリストダビング時のみ)。
- カメラやメモリーカードに、つづきダビングできる新しく撮影された動画や静止画がありません(つづきダビング時のみ)。
- 複数の記録メディアを搭載するカメラをつないだとき、ダビングしたい画像が入っている記録メディアが正しく選ばれていない可能性があります。カメラの[USB接続]や[LUN設定]などをご確認ください。

ワンタッチダビングで録画できる映像がありません。

- カメラに、ワンタッチダビング(つづきダビング)できる新しく撮影された動画や静止画がありません。

このディスクにダビングすることはできません。新しいディスクを入れてください。

- 標準画質(SD)の動画をダビングしたディスクに、ハイビジョン画質(HD)の動画を追記することはできません。
- ハイビジョン画質(HD)の動画をダビングしたディスクに、標準画質(SD)の動画を追記することはできません。

このディスクの再生には対応していません。

- 他の機器でダビングしたディスクや市販のDVDビデオソフトなどは再生できません。

写真が多すぎます。上限の枚数まで取り込みます。

- カメラやメモリーカードにある写真の枚数や合計サイズなどが、本機が一度に扱うことのできる条件を超えている場合は、可能な枚数の写真のみを本機に取り込みます。

接続機器のエラーです。

- カメラと本機の接続（USBケーブル）がはずれた、またはカメラ側の電源が切れた可能性があります。確認してください。
- カメラにデモ映像が保存されていると正常に動作しない場合があります。カメラに保存されているデモ映像を削除してください。

XX/YY の動画はダビングできません。ダビングを続けますか？

- ダビング元のカメラまたはメモリーカードに、［HD FX］（ハイビジョンハンディカムの場合）など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質（HD）の動画があります。この動画はAVCHD規格の規定によりダビングできません。「はい」を選ぶと、それ以外の動画だけダビングできます。（XX/YY:ダビングできない動画の数/ダビング元にあるすべての動画の数）

音楽の取り込みに失敗しました。

- スライドショーBGMの音楽を取り込むことができないディスクです。
  （コピーコントロールCDなど、コンパクトディスクの規格と異なるディスクは使用できません。）

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは相談窓口へ

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

- 型名：VRD-MC10
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

部品の保有期間について

当社では、DVDライターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間を経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、相談窓口にご相談ください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で外部メディアなどに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で外部メディアの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、外部メディア、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

使用可能なディスク・メモリーカード

ディスクについて

本機では、以下のディスクにダビングできます。ただし、すべてのディスク・製造元の動作を保証するものではありません。

ディスクの種類	マーク	本機でのダビング	対応可能なバージョン
DVD+R		○	16倍速メディアまで
DVD+R DL （2層）		○	8倍速メディアまで
DVD+RW		○	8倍速メディアまで
DVD+RW 高速書き込み対応		○	8倍速メディアまで
DVD-R		○	16倍速メディアまで
DVD-R DL （2層）		×	—
DVD-RW		○	6倍速メディアまで

ちょっと一言

- 本機はCPRM対応のディスク、非対応ディスク、どちらも使用できます。

ご注意

- ブルーレイディスク、DVD-R DL（2層）、CD-R、CD-RW、また8cmディスクは使用できません。

ディスクに関するご注意

- パソコンや他のビデオ機器でダビングしたディスクには追記できません。
- 市販の記録型ディスクの中には、規格上の品質や性能を満足しない製品があります。そのようなディスクを使用した場合、正常に記録できない場合があります。
- 記録済みのディスクは、傷や汚れ、また記録状態や再生機器、再生ソフトの特性などにより、再生できない場合があります。また、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

“メモリースティック”について

本機では下記の“メモリースティック”が使用できます。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

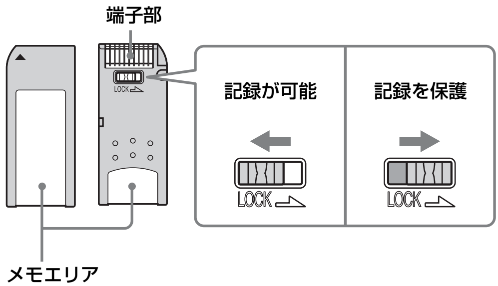
“メモリースティック”の種類	読み込み
メモリースティック	○
メモリースティック（マジックゲート／高速データ転送対応）	○*1
メモリースティック デュオ	○
メモリースティック デュオ（マジックゲート／高速データ転送対応）	○*1
マジックゲート メモリースティック	○*1
マジックゲート メモリースティック デュオ	○*1
メモリースティック PRO	○*1
メモリースティック PRO デュオ	○*1*2
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*1

*1 本機ではマジックゲート機能を使ったデータは読み込みできません。

*2 32GBまでのソニー製“メモリースティック PRO デュオ”および“メモリースティック PRO-HGデュオ”で動作確認を行っています。本機のメモリーカードスロットは32GBを超える容量には対応していません。また32GBを超えるカードを、撮影した機器のメモリーカードスロットに挿入して本機とUSBケーブルでつないでも、ダビングはできません（2010年1月現在）。

使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを先の細いものでスライドさせLOCKにすると、データを記録、編集、消去できなくなります。



- “メモリースティック”はマルチカードスロットに、“メモリースティックデュオ”は、メモリースティックデュオスロットに入れてください。“メモリースティックデュオ”を、メモリースティックデュオアダプターを使用してマルチカードスロットに入れると、誤動作する場合があります。
- 各種カードアダプターを使用した場合の動作は保証いたしません。
- “メモリースティック”を初期化するときは、ご使用のカメラで初期化してください。パソコンで初期化した“メモリースティック”は、動作を保証いたしません。
- 誤消去防止スイッチの形状･位置はお使いの“メモリースティック”により異なります。
- ダビング中やメモリーカードランプ点灯中は、“メモリースティック”を取り出さないでください。

- 以下の場合、データが破損することがあります。
  – データを読み込み中に、“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った。
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で、“メモリースティック”を使った。

SDカード／xD-ピクチャーカード／コンパクトフラッシュについて

本機では下記のメモリーカードをご使用になれます。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

- SDメモリーカード*1
- SDHCメモリーカード*2
- xD-ピクチャーカード
- コンパクトフラッシュ（Type I/Type II）、またはCF+カード（Type I/Type II）準拠のコンパクトフラッシュ*3

*1 2GBまでのSDカードで動作確認を行っています。

*2 32GBまでのSDHCカードで動作確認を行っています。本機のメモリーカードスロットは32GBを超える容量には対応していません。また32GBを超えるカードを撮影した機器のメモリーカードスロットに挿入して、本機とUSBケーブルでつないでも、ダビングはできません（2010年1月現在）。

*3 コンパクトフラッシュカードは、電源仕様が3.3Vあるいは、3.3V/5Vのものをお使いください。5V専用、または3V専用のタイプは、お使いになれません。対応以外のカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。

使用上のご注意

- 市販の各カードアダプターを使用した場合の動作は保証いたしません。
- 特に金属製のカードアダプターは使用しないでください。誤動作の原因となります。
- 著作権保護技術が必要なデータの読み込みはできません。

ダビングにかかる時間とダビングできる時間

ダビングに要する時間

動画をダビングするときに要する時間は、撮影したときの録画モード(FH、XP、HQ、SP、LP)やシーンの数によって変わります。一般に、撮影時に設定した録画モードの画質(ビットレート)が高いほど、ディスクへのダビング時間はかかります。ダビングの所要時間はおおよそ次のようになっています。以下はソニー製機器の例です。

ハイビジョン画質(HD)のダビング
(1時間の動画(撮影時の録画モード[SP])をダビングした場合)

USB端子使用時(8cmディスクからのダビングを除く)	USB端子使用時(8cmディスクからのダビング)	本機のメモリーカードスロット使用時
約15分	約30分	約30分

標準画質(SD)のダビング
(1時間の動画(撮影時の録画モード[SP])をダビングした場合)

USB端子使用時(8cmディスクからのダビングを除く)	USB端子使用時(8cmディスクからのダビング)	本機のメモリーカードスロット使用時
約15分	約30分	約30分

ちょっと一言

- DV IN、VIDEO IN、S VIDEO INの各端子にビデオカメラをつないでダビングするときに要する時間は、ダビングする動画の再生時間と同じです。

ご注意

- [HD FX](ハイビジョンハンディカムの場合)など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質(HD)の動画は、AVCHD規格の規定によりダビングできません。録画モードとビットレートについては、ご使用のカメラの取扱説明書を参照ください。

ディスク1枚にダビングできる時間

ディスク1枚にダビングできる時間は、おおよそ次のようになっています。
以下はソニー製機器の例です。

ハイビジョン画質(HD)のディスク(AVCHD規格)

ダビングできる時間はカメラの録画モードによって変わります。

撮影時のカメラの録画モード	DVD-R/-RW/+R/+RW
FH	約30分
XP	約30分
FS	約35分
HQ+	約40分
HQ	約55分
SP	約1時間10分
LP	約1時間35分

標準画質(SD)のディスク
(USB端子またはメモリーカードスロットを使用したダビング)

ダビングできる時間はカメラの録画モードによって変わります。

撮影時のカメラの録画モード	DVD-R/-RW/+R/+RW
HQ	約1時間
SP	約1時間30分
LP	約3時間

標準画質(SD)のディスク
(DV IN、VIDEO IN、S VIDEO IN端子を使用したダビング)

ダビングできる時間は、本機の設定メニューの[録画画質(録画モード)](63ページ)で設定できます。

本機の[録画画質(録画モード)]設定	DVD-R/-RW/+R/+RW
HQ	約1時間
HSP	約1時間30分
SP	約2時間
LP	約3時間

ちょっと一言

- DVD+R DL(2層ディスク)を使用した場合は、上記時間の約1.8倍になります。

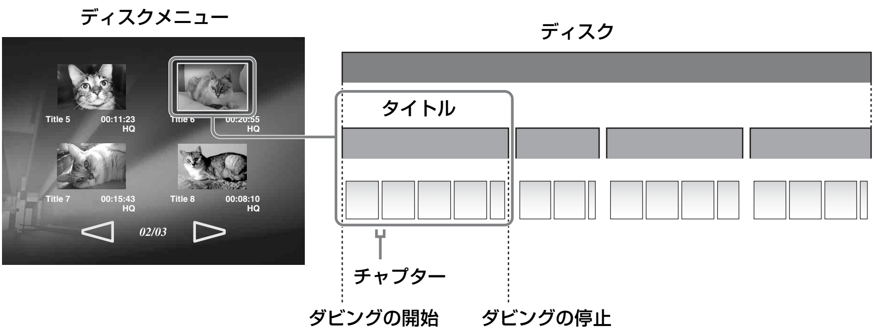
ご注意

- [HD FX](ハイビジョンハンディカムの場合)など、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質(HD)の動画は、AVCHD規格の規定によりダビングできません。録画モードとビットレートについては、ご使用のカメラの取扱説明書を参照ください。

ダビングしたディスクについて

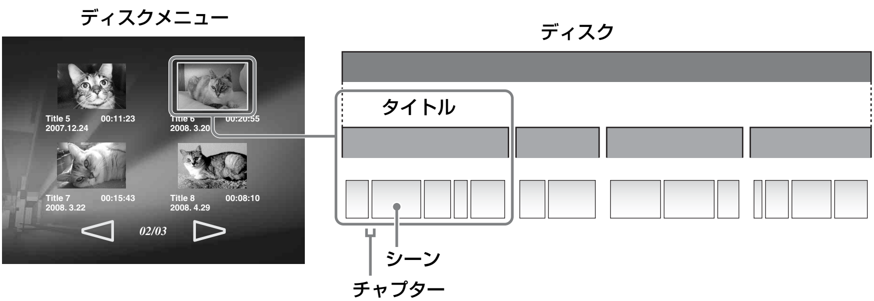
本機でダビングした動画のディスクにはディスクメニューが作成されます。ディスクメニューはディスクを再生するたびに表示され、日付やサムネイル画像から動画を選ぶのに役立ちます。
また、ディスクの画質やダビング時の接続方法によって、ディスク内の動画は以下のように構成されます。

標準画質（SD）のディスク
（DV IN、VIDEO IN、S VIDEO IN端子を使用したダビング）



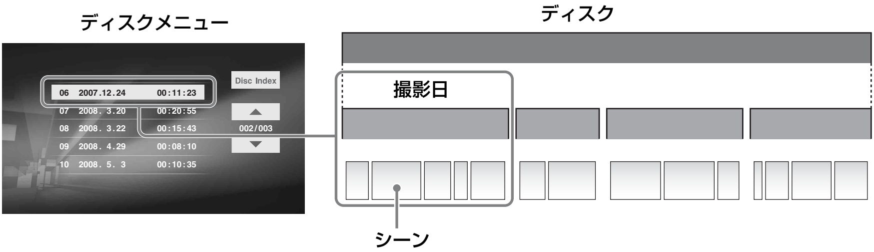
ディスクメニューには、タイトル（本機でのダビング開始／停止操作で区切られた動画）のサムネイル画像が表示されます。それぞれのタイトルには、[自動チャプター]（63ページ）で設定された間隔で、チャプター（ディスク上での動画の区切り）が自動的に作成されます。

標準画質（SD）のディスク
（USB端子またはメモリーカードスロットを使用したダビング）



- ディスクメニューには、タイトル（撮影日ごとにまとめられた動画）のサムネイル画像が表示されます。それぞれのタイトルは、シーン（カメラで撮影したときの録画開始／停止で区切られた動画）ごとにチャプター（ディスク上での動画の区切り）が自動的に作成されます。
- 異なる録画モード（撮影時のカメラのHQ、SPなどの設定）や異なる画面比率（16:9/4:3）の動画をダビングしたとき、または動画の追記を行ったときは、撮影日が同じ動画でもまとめられる単位が分かれる場合があります。

ハイビジョン画質（HD）のディスク



- ディスクメニューには、動画の撮影日が一覧となって表示されます。それぞれの撮影日は、同じ日付のシーン（カメラで撮影したときの録画開始／停止で区切られた動画）で構成されています。
- 異なる録画モード（撮影時のカメラのHQ、SPなどの設定）の動画をダビングしたとき、または動画の追記を行ったときは、撮影日が同じ動画でもまとめられる単位が分かれる場合があります。
- 本機でハイビジョン画質（HD）のディスクを再生すると、撮影日ごとの単位がタイトルとして扱われ、リモコンで操作したり再生中の画面に表示されます。
- ディスクメニューの右上の［Disc Index］を選ぶと、各シーンの初めから10秒間が順番に再生されます。ダビングされたシーンが長い場合は、5分ごとに自動的にインデックスを作成し、10秒間再生します。

ご注意
- 再生する機器によっては、ディスクメニューが表示されない場合があります。
- 動画と静止画を同じディスクにダビングした場合、静止画のサムネイル画像や撮影日の一覧はディスクメニューに表示されません。

ちょっと一言
- ディスクメニューの背景には、本機に用意されている画像を使用できます（64ページ）。

使用上のご注意

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

本機のお手入れについて

汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーなどで強く拭くと傷がつく恐れがあります。

輸送について

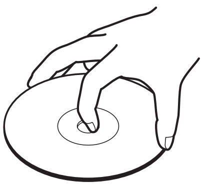
本機を単独で輸送する場合は、お買い上げ時の梱包箱を使用してください。
本機を移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

結露現象について

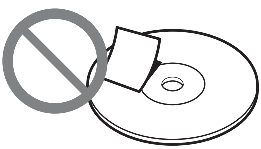
急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して 1 時間以上待ち、それから電源を切ってください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。再生／録画面に触れないでください。



- ディスクに紙などを貼ったりしないでください。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。
- 記録用ディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

メモリーカードの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など、気温が高い場所
  - 直射日光が当たる場所
  - 湿気の多い場所
  - 腐食性のものがある場所
  - ほこりが多い場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響がある場所
  - 磁気の影響がある場所
- 持ち運びや保管の際は、カードに付属の収納ケースに入れてください。
- 本機でカードを使用中に、カードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。データの読み込みができなくなる場合があります。

HDMIケーブルの取り扱いについて

- HDMIケーブルを上下逆に無理に差し込まないでください。
- HDMIケーブルはHDMI端子の奥までしっかりと差し込んでください。
- 本機を持ち運ぶ場合は、HDMIケーブルをはずしてください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

警告 感電 火災

下記の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

分解禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

禁止

指定の AC アダプター以外は使用しない *

火災や感電の原因となります。

禁止

AC アダプターや電源コードを他の機器で使用しない。

火災や感電の原因となります。

禁止

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品やメモリーカードなどを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

* 海外でのご使用について
電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ディスクトレイの開閉時、手をふれない

ディスクトレイが開閉する際に、手をはさまれないようにご注意ください。

指のケガに注意

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置、取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

禁止

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

指示

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

接触禁止

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機や AC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	• 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 • 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。 • 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 • 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。	禁止
⚠警告	• 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 • ボタン電池は充電しないでください。	禁止
⚠注意	• 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。	指示

主な仕様

録画・ダビング

作成できるディスク

- 標準画質（SD）ディスク*1
- ハイビジョン画質（HD）ディスク（AVCHD規格）*1
- 静止画ディスク（JPEGファイル保存）

記録できるディスク

DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R DL

12cmディスク

対応入力機器（動画ダビング）

- ソニー製デジタルビデオカメラ
  - ハードディスク
  - 内蔵メモリー
  - メモリーカード
  - 8cmディスク
  - DV/D8テープ
- ソニー製デジタルスチルカメラ
  - 内蔵メモリー
  - メモリーカード
- 他社製デジタルビデオカメラ
  - メモリーカード
  - DVテープ
- 音声出力・映像出力のあるビデオ機器

対応入力機器（静止画ダビング）

- ソニー製デジタルビデオカメラ
  - ハードディスク
  - 内蔵メモリー
  - メモリーカード
  - 8cmディスク
- ソニー製デジタルスチルカメラ
  - 内蔵メモリー
  - メモリーカード
- 他社製デジタルビデオカメラ
  - メモリーカード
- 他社製デジタルスチルカメラ
  - メモリーカード

対応静止画形式*2

JPEG、DCF2.0準拠

*1動画・静止画の混在可能

*2本機では、以下の静止画（JPEGファイル）で動作を確認しています。
画素数：最大8192×8192画素
ファイルサイズ：最大7.2MB

再生

再生可能ディスク

VRD-MC10でダビングしたディスク
（上記以外は非対応）

再生出力

本体液晶画面または映像出力端子
（ディスク再生時のみ）

入出力端子

DV IN端子*1

4ピン　i.LINK（IEEE1394）

VIDEO IN端子

ピンジャック
1Vp-p/75 Ω

S VIDEO IN端子

4ピンミニDIN
Y：1Vp-p/75Ω
C：0.286Vp-p/75Ω

AUDIO IN端子

ピンジャック
2Vrms（入力インピーダンス：47kΩ以上）

USB端子

タイプA*2

*1DV規格デジタルビデオカメラ接続用。MICROMVまたはHDVハンディカム（HDV形式）、あるいは他のi.LINK端子付デジタルビデオ機器からはダビングできません。

*2ソニー製カメラ接続用。

COMPONENT OUT端子
ピンジャック
Y：1Vp-p/75Ω
P_B/C_B：0.7Vp-p/75Ω
P_R/C_R：0.7Vp-p/75Ω

A/V OUT端子
ピンジャック
VIDEO：1Vp-p/75 Ω
AUDIO：2Vrms（負荷インピーダンス：10kΩ以上）

HDMI OUT端子
タイプA（19ピン）

メモリーカードスロット

“メモリースティックデュオ”
“メモリースティック”*
SDメモリーカード*
xD-ピクチャーカード*
コンパクトフラッシュ

* マルチカードスロットを使用。

電源部、その他

電源
DC 16V（DC IN端子）

消費電力
64W

ACアダプター　AC-NB16A
電源：AC 100V－240V
定格出力：DC 16V/4A

外形寸法
約198×75×230mm（幅×高さ×奥行き）

本体質量
約1.75kg

許容動作温度
5℃～35℃

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

その他

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「101」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

P/N 7911000016D

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China

http://www.sony.co.jp/